

# HP Operations Agent

ソフトウェアバージョン: 12.00

Windows®、Linux、HP-UX、Solaris、AIX オペレーティングシステム用

## リリースノート

ドキュメント リリース日: 2015 年 8 月 (英語版)

ソフトウェア リリース日: 2015 年 8 月 (英語版)



## ご注意

### 保証について

HP 製品およびサービスに関する保証は、これらの製品およびサービスに付随する明示的保証書に記載された内容に限定されます。本文書には、追加の保証を規定している箇所はありません。HP は、本文書に含まれる技術的または編集上の誤りや遺漏に対して、責任を負わないものとします。

この情報は予告なしに変更されることがあります。

### 法律上の権利の制限について

本書で取り扱っているコンピュータ ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェアのドキュメント、および商用アイテムの技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づいて米国政府にライセンスが付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2010 - 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX® は The Open Group の登録商標です。

## ドキュメントの更新情報

本書のタイトル ページには、以下の識別情報が含まれています。

- ソフトウェア バージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメント リリース日付。ドキュメントがアップデートされるたびに更新されます。
- ソフトウェア リリース日付。ソフトウェアのこのバージョンのリリース日付を示します。

最新のアップデートを確認したり、ドキュメントの最新エディションを使用しているかどうかを確認したりするには、以下の URL にアクセスしてください。 <https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HP Passport への登録とサイン インが必要となります。HP Passport ID を登録するには、次の URL にアクセスしてください。 <https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

または、HP ソフトウェア サポート ページ 上部の登録リンクをクリックしてください。

また、適切な製品 サポート サービスをお申し込みいただいた場合は、アップデート版または新版をお送りします。詳細は、正規販売代理店にお問い合わせください。

## サポート

次の HP ソフトウェア サポート オンラインの Web サイトにアクセスしてください。

<https://softwaresupport.hp.com>

この Web サイトには HP ソフトウェアの製品、サービス、サポートに関する詳細情報とコンタクト先が示されています。

HP ソフトウェア サポート オンラインでは、セルフソルブ技術情報を提供しています。ビジネスの管理に必要なインタラクティブな技術サポート ツールに、すばやく効率的にアクセスすることができます。サポート Web サイトを使用することにより、重要なサポート カスタマとして以下のメリットを受けることができます。

- 興味のある知識に関するドキュメントを検索する
- サポート ケースおよび機能強化要求を提出し追跡する
- ソフトウェアのパッチをダウンロードする
- サポート契約を管理する
- HP サポートの連絡先を調べる
- 利用可能なサービスに関する情報を確認する
- 他のソフトウェア カスタマと議論を始める
- ソフトウェア トレーニングに関して調査し登録する

ほとんどのサポート領域では、HP Passport ユーザーとして登録し、サイン インする必要があります。また、多くの場合、サポート契約が必要となります。HP Passport ID を登録するには、以下の Web サイトにアクセスしてください。

**<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>**

アクセス レベルの詳細については、次の URL にアクセスしてください。

**<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>**

**HP Software Solutions Now** は、HPSWのソリューションと統合に関するポータル Web サイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP 製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトの URL は **<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>** です。

## 目次

HP Operations Agent リリースノート .....	6
インストーラの機能拡張 .....	6
パフォーマンスの機能拡張 .....	8
メトリック データストア .....	8
データベース ファイルにより使用されるディスク スペースの制御 .....	9
プロキシ データソース .....	9
拡張収集ビルダ/マネージャ .....	9
parm ファイルの更新 .....	9
新しいプロセス .....	11
コマンドライン ツールの更新 .....	11
Extract ツールの更新 .....	11
Utility ツールの更新 .....	12
カスタム データ ログ記録の機能拡張 .....	12
データ ソース統合の機能拡張 .....	12
アプリケーション プログラミング インターフェイス .....	13
ベースライン計算の概要 .....	13
その他の機能拡張 .....	14
SNMP トラップ インターセプタの機能拡張 .....	14
perfalarm の有効化 .....	14
HP Operations Agent Health View .....	15
HP Operations Agent から HP vPV への X86 仮想テクノロジーの進化 .....	15
既知の問題 .....	16
HP Computesensor Standalone Packages (vPV に付属) と HP Operations Agent 12.00 の 共存 .....	18
付録 .....	18
設定メトリック .....	18
Linux .....	19
Windows .....	20
AIX .....	20
Solaris .....	21
HP-UX .....	22
新しいメトリック .....	23
Linux .....	23
Windows .....	27
AIX .....	29
Solaris .....	33
HP-UX .....	37

廃止されたメトリック .....	47
Linux .....	47
Windows .....	50
AIX .....	52
Solaris .....	53
HP-UX .....	54
ドキュメントのフィードバックを送信 .....	57

# HP Operations Agent リリースノート

Windows®、Linux、HP-UX、Solaris、AIX オペレーティングシステム用

ソフトウェア バージョン: 12.00

発行日: 2015 年 8 月

このドキュメントでは、HP Operations Agent の変更の概要を説明します。次の情報が記載されています。

本リリースの概要

- [インストーラの機能拡張](#)
- [パフォーマンスの機能拡張](#)
- [その他の機能拡張](#)
- [HP Operations Agent Health View](#)
- [HP Operations Agent から HP vPV への X86 仮想テクノロジーの進化](#)

**注:** HP Operations Agent 12.00 は次の言語にローカライズされています。英語、フランス語、ドイツ語、日本語、ロシア語、韓国語、簡体字中国語、スペイン語。

## インストーラの機能拡張

次のいずれかの方法を使用して、大規模な環境への HP Operations Agent のデプロイメントとインストールを簡略化できます。

### • エージェント インストール リポジトリを使用した HP Operations Agent のインストール

標準的な環境では、いくつかのオペレーティングシステム上に複数のバージョンの HP Operations Agent がデプロイされています。Linux オペレーティングシステム上に**エージェント インストール リポジトリ**をインストールし、リポジトリにある異なるバージョンの HP Operations Agent を Windows および Linux オペレーティングシステム上にデプロイできます。

エージェント インストール リポジトリは、次のいずれかを使用して環境内にホストできます。

- **スタンドアロンのエージェント インストール リポジトリ**  
エージェント インストール リポジトリを Linux マシン上にスタンドアロンのインストーラとしてインストールすることで、任意の Linux ホスト上にリポジトリを設定できます。このホスト上では Web サーバーが動作している必要があります。同じリポジトリは、HP Operations Agent および Icore パッケージの **Yum リポジトリ**の役割を果たすこともできます。
- **仮想アプライアンスとしてのエージェント インストール リポジトリ**

エージェント インストール リポジトリを仮想アプライアンスとして使用でき、VMware 環境にデプロイできます。

詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』の「Installing HP Operations Agent using Agent Installation Repository」の章を参照してください。

- **Puppet 環境を使用した HP Operations Agent のインストール**

**Puppet マスタ**および **Puppet クライアント**が設定されている環境で、**Puppet** を使用して HP Operations Agent をインストールできます。

HP Operations Agent パッケージは、エージェント インストール リポジトリに保存されます。Puppet マスタ上にある Puppet モジュールは、エージェント インストール リポジトリから HP Operations Agent パッケージまたは zip ファイルを取得し、Puppet クライアント (Linux ノード) 上に HP Operations Agent パッケージをデプロイします。

詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』の「Installing HP Operations Agent using the Puppet Environment」の章を参照してください。

- **HP Server Automation を使用した HP Operations Agent のインストール**

HP Server Automation を使用して HP Operations Agent をデプロイすることができます。HP Operations Agent をインストールするターゲットには、常に Server Automation エージェントがインストールされている必要があります。詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』の「Installing HP Operations Agent Using HP Server Automation」の章を参照してください。

- **シングル ステップ インストーラを使用した HP Operations Agent のインストール**

HP Operations Agent 12.00 インストーラを使用すると、HP Operations Agent 12.00 のベースバージョンとパッチおよびホットフィックスを、1つのステップでインストールできます。インストーラはまず HP Operations Agent 12.00 のベースバージョンをシステムにインストールし、次にパッチおよび利用可能なホットフィックスをインストールします。シングル ステップ インストールの詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』の「Installing HP Operations Agent (Full and Differential Packages) using Single Step Installer」の章を参照してください。

- **プロファイル ファイルを使用した HP Operations Agent のインストール**

HP Operations Agent バージョン 12.00 では、インストール時に設定可能なすべての値を、プロファイル ファイルの新しい名前空間 `nonXPL.config` の下に追加する必要があります。名前空間 `nonXPL.config` の下に追加された設定可能な値は、`xpl.config` 設定で更新されません。

詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』を参照してください。

- **ZIP メディアを使用した HP Operations Agent のインストール**

ZIP メディアを使用して HP Operations Agent を手動でノードにインストールし、HP Server Automation を使用して HP Operations Agent をインストールできます。詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』の「Installing HP Operations Agent using Zip media」の章を参照してください。

**注:** サポート対象ハードウェア、オペレーティングシステム、HPOM バージョン、HP Operations Agent バージョンの一覧については、[サポートマトリックス](#)を参照してください。

#### • SSL 証明書によるエージェント インストール リポジトリ仮想アプライアンスの保護

エージェント インストール リポジトリ仮想アプライアンスを、CA (証明書機関) によって署名された証明書または自己署名証明書によって保護するには、SSL (Secure Socket Layer) 証明書を設定します。

SSL 証明書をエージェント インストール リポジトリ仮想アプライアンスにコピーし、Lighttpd サーバーで SSL 証明書を設定します。

**注:** Lighttpd は、エージェント インストール リポジトリに存在する Web サーバー コンポーネントです。

エージェント インストール リポジトリを設定した後、対応する証明書を仮想アプライアンスにインストールする必要があります。その後、oarepo.ps1 (Windows) または oarepo.sh (Linux) スクリプトをダウンロードし、HP Operations Agent をインストールします。

エージェント インストール リポジトリ仮想アプライアンスでの SSL 証明書の設定の詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』を参照してください。

## パフォーマンスの機能拡張

HP Operations Agent のデータ収集、データ ログ記録、モニタ機能は、次の機能によって拡張されています。

### メトリック データストア

HP Operations Agent 12.00 では、CODA、SCOPE、DSI などの複数の独自仕様のデータストアが、SQLite を使用する RDBMS (Relational Database Management System) に基づくデータストアに統合されました。SQLite データストアでは、データのメンテナンスが容易であり、破損した場合でも最小限の損失でデータを回復できます。

CODA および Scope プロセス (scopeux および scopent) は、**oacore** プロセスと呼ばれる 1 つのプロセスに統合されています。**oacore** プロセスは、システムパフォーマンスおよびカスタムデータに対する読み取りと書き込みの両方のインターフェイスを提供します。

**oacore** プロセスのデフォルト動作は、設定変数を使用して指定できます。設定変数の詳細については、『HP Operations Agent Reference Guide』の「Configuration Variables of the HP Operations Agent」の章の「Configuration Variables for the oacore Process」を参照してください。

メトリック データストアの詳細については、『HP Operations Agent User Guide』を参照してください。

**注:** HP Operations Agent 12.00 のすべてのアプリケーションは、**oacore** プロセスが実行されてい



る場合のみ動作します。

## データベースファイルにより使用されるディスクスペースの制御

Performance Collection Component には、データベースファイルの自動管理機能があります。データストアに記録されるデータのすべてのクラスに対して、クラス固有のデータベースファイルが作成されます。

**parm** ファイルに指定された最大サイズに達した場合、デフォルトのパフォーマンスメトリッククラスを記録するデータベースファイルはロールオーバーされます。**parm** ファイルにロールオーバーのサイズが指定されていない場合、データベースファイルは最大サイズの 1 GB に達したときにロールオーバーされます。

カスタムデータを記録するデータベースファイルの最大サイズは、デフォルトで 1 GB に設定されています。このサイズは設定できません。これらのデータベースファイルは、最大サイズの 1 GB に達するとロールオーバーされます。

ロールオーバーの際には、古い方から 20% のデータがデータベースファイルから削除されます。

データベースファイルに使用されるディスクスペースの制御の詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Managing Data Collection」の章を参照してください。

## プロキシデータソース

1 つのデータソースだけを読み取り専用モードでホストできます。プロキシモードでは、メトリックデータストアへのデータログ記録は完全に無効になります。別のシステムのデータベースファイルをデータソースとしてホストする方法の詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Comparing HP Operations Agent 12.00 with Earlier Versions」の章を参照してください。

## 拡張収集ビルダ/マネージャ

Performance Collection Component は、Windows でシステム、アプリケーション、またはデバイスのパフォーマンスの測定に用いられるパフォーマンスカウンタへのアクセスを可能にします。拡張収集ビルダ/マネージャ (ECBM) を使用して、特定のパフォーマンスカウンタを選択し、データ収集を構築することができます。

この機能は HP Operations Agent 12.00 ではサポートされません。

## parm ファイルの更新

**parm** ファイルには、特定のパフォーマンス測定をログに記録するためのデータコレクタに対する指示が含まれます。**parm** ファイルの機能拡張は次のとおりです。

パラメータ	説明
<b>javaarg</b>	このパラメータは、Windows と UNIX の両方のプラットフォームで有効です。
<b>cachemem</b>	<p>AIX マシンでは、cachemem パラメータを <b>free (f)</b> に設定して、topas コマンドに一致させる必要があります。</p> <p>Solaris マシンでは、cachemem パラメータは ZFS の Adaptive Replacement Cache (ARC) にのみ適用されます。</p> <p>cachemem パラメータはデフォルトでは <b>user (u)</b> に設定されます。parm ファイルでこのパラメータを <b>free (f)</b> に設定した後で、データ コレクタを再起動します。parm ファイルの cachemem パラメータが <b>free</b> に設定されている場合、GBL_MEM_UTIL は ZFS ARC を除外します。</p>
<b>scopetransactions</b>	HP Operations Agent 12.00 では、スコープ トランザクションはログに記録されず、Scope_Get_Process_Metrics および Scope_Get_Global_Metrics も記録されません。
<b>size</b>	<p>デフォルトのパフォーマンス メトリック クラスを記録するデータベース ファイルのサイズは、parm ファイルに指定された最大サイズに依存します。parm ファイル内のサイズ指定を変更した場合、oacore は起動時のみそれを検出します。</p> <p>parm ファイルに指定された最大サイズに達した場合、クラスのデータベース ファイルはロール オーバーされます。ロールオーバーの際には、古い方の 20% のデータが削除されます。parm ファイルに size が指定されていない場合、データベース ファイルは最大サイズの 1 GB に達したときにロール オーバーされます。</p> <p>カスタム データを記録するデータベース ファイルの最大サイズは、デフォルトで 1 GB に設定されています。このサイズは設定できません。</p> <p>データベース ファイルに使用されるディスク スペースの制御の詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Managing Data Collection」の章を参照してください。</p>
<b>mainttime</b>	このパラメータはサポートされません。
<b>days</b>	このパラメータはサポートされません。
<b>maintweekday</b>	このパラメータはサポートされません。

<b>proccmd</b>	<p>このパラメータはすべてのプラットフォームで有効です。proccmd パラメータは、プロセス コマンドのデータストアへの記録を有効にします。</p> <p>デフォルトでは、このプロセスの値は 0 に設定されており、プロセス コマンドの記録は無効になっています。プロセス コマンドの記録を有効にするには、このパラメータの値を 1 に設定します。</p> <p>proccmd パラメータの記録は、このパラメータの値が 1 以上の場合にオンになります。記録されるプロセス コマンドの長さは、このパラメータに指定された値に関わりなく、常に 4096 です。</p>
----------------	---

parm ファイルの詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Managing Data Collection」の章の「Using the parm File」を参照してください。

## 新しいプロセス

HP Operations Agent 12.00 では次のプロセスが追加されています。

- **oacore**

CODA および **scope** プロセス (scopeux および scopent) は、**oacore** と呼ばれる 1 つのプロセスに統合されています。**oacore** プロセスは、システム パフォーマンスおよびカスタム データに対する読み取りと書き込みの両方のインターフェイスを提供します。

**oacore** プロセスは、ovpa スクリプトによって呼び出されます。**parm** ファイルに記述された指示に基づいて、**oacore** データ コレクタはシステム全体のパフォーマンスおよび状況データを継続的に収集し、収集したデータを メトリック データストア に記録します。

- **hpsensor**

rtmd プロセスは hpsensor プロセスに置き換えられました。rtmd の XPL 設定は以前のバージョンと互換性がなく、HP Operations Agent を 11.xx から 12.00 にアップグレードすると動作しなくなります。hpsensor プロセスには、セキュリティ (SSL) を使用するための同様の XPL 設定がありません。

hpsensor プロセスを使用すると、リアルタイムのパフォーマンス メトリックに、セキュアな通信チャンネルを通じてローカルまたはリモートでアクセスできます。

## コマンドラインツールの更新

HP Operations Agent 12.00 では、Utility および Extract プログラムの実行はコマンドライン モードでのみサポートされます。インタラクティブ モードでの Utility および Extract コマンドの実行は HP Operations Agent 12.00 ではサポートされません。

## Extract ツールの更新

Extract プログラムは、HP Operations Agent のデータストアに記録された履歴データの取得と分析に使用します。Extract プログラムはエクスポート機能を実行します。このプログラムは、データストアからデータを読み取り、結果を ASCII 形式の出力ファイルにエクスポートします。

HP Operations Agent バージョン 11.xx から 12.00 へのアップグレードの際に、CODA データベースファイル、SCOPE ログファイル、DSI ログファイルに記録されているデータは、読み取り専用モードで保持されます。Extract プログラムは、ログファイルに基づくデータストアとメトリックデータストアの両方からデータを読み取ることができます。

Extract プログラムの機能拡張は次のとおりです。

- 新しいメトリッククラス Host Bus Adapter (HBA) が HBA データのエクスポート用に追加されました。

Extract コマンドのオプション

-h	エクスポートする HBA 詳細データを指定します。
-H	エクスポートする HBA 要約データを指定します。

- bycore データのエクスポート用に、メトリッククラス core が追加されています。

Extract コマンドのオプション

-x	エクスポートするコア詳細データを指定します。
-X	エクスポートするコア要約データを指定します。

Extract プログラムの詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Using the Extract Program」の章を参照してください。

## Utility ツールの更新

Utility プログラムは、収集パラメータ (parm) ファイルおよびアラーム定義 (alarmdef) ファイルに関する情報を管理し、レポートするためのツールです。

Utility プログラムに対する変更は次のとおりです。

- Resize コマンドはサポートされません。
- 次の Utility コマンドはサポートされません。  
start、stop、exit、guide、logfile、menu、sh、show

Utility プログラムの詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Using the Utility Program」の章を参照してください。

## カスタム データ ログ記録の機能拡張

カスタム データ ログ記録のプロセスが、DSI および送信 API によって拡張されています。

**注:** カスタム データをメトリックデータストアに記録するには、API を使用することを推奨します。

## データ ソース統合の機能拡張

DSI プロセスで収集されたデータは、メトリックデータストアに記録されます。

**注:** DSI がカスタム データを収集するためには、**oacore** プロセスが実行されている必要があります。

以前のバージョンとの互換性のため、コマンドラインでは引き続きログ ファイル引数がサポートされます。ログ ファイル名は次のパスから抽出され、データソース名と見なされます。

```
sdlcomp <class specification file> <logfile name>
```

HP Operations Agent をバージョン 11.xx から 12.00 にアップグレードした場合、メタデータまたはデータ記録のフォーマットは古いログ ファイルからメトリック データストアにコピーされます。

DSI ログ ファイルに記録されたデータにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを使用してデータソース ファイルを開きます。

```
<OvDataDir>/conf/perf/datasources file
```

2. 次のエントリを追加します。

```
DATASOURCE=<Datasource Name>LOGFILE=<DSI Logfile Path>
```

データストアに記録されるカスタム データのすべてのクラスに対して、クラス固有のデータベース ファイルが作成されます。これらのデータベース ファイルは、最大サイズの 1 GB に達するとロールオーバーされます。ロールオーバーの際には、古い方から 20% のデータがデータベース ファイルから削除されます。

**注:** ロールオーバーのサイズを設定することはできません。

DSI プログラムの詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Overview of Data Source Integration」の章を参照してください。

## アプリケーション プログラミング インターフェイス

カスタム データのログ記録のプロセスは、API の使用によって簡略化されています。API を使用することで、カスタム データをメトリック データストアにシームレスに記録できます。API を使用することで、64 ビット データタイプおよびマルチインスタンス データをデータストアに記録できます。

**注:** API を使用してメトリック データストアにデータを記録できるのは、**oacore** プロセスが実行されている場合だけです。

詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Using Application Programming Interface」の章を参照してください。

## ベースライン計算の概要

ベースライン計算とは、メトリック データストア に記録された履歴データに基づいて、基準値を計算して返すプロセスです。特定の期間のベースライン データを計算するには、前の週の対応する期間に収集されたメトリック データが用いられます。ベースライン データは、1 時間ごとに計算され、メトリック データストア に保存されます。

ベースライン データは次の用途に用いられます。

- 毎日のパフォーマンスを監視するための基準値の設定
- パフォーマンスの傾向を分析するための基準値の設定
- リソース使用率のパターンを分析するための最適なしきい値の動的な設定

HP Operations Agent によって計算されたベースライン データは、SI-AdaptiveThresholdingMonitor ポリシーによって、パフォーマンスとリソース使用率を監視するために用いられます。

ベースライン データと、SI-ConfigureBaselining ポリシーまたは SI-AdaptiveThresholdingMonitor ポリシーで設定された偏差 (N) を組み合わせることで、変化に柔軟に対応する適応監視および適応しきい値設定が可能になります。適応しきい値設定を使用すれば、最適なしきい値を動的に計算できます。

ベースライン計算の詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Overview of Baselining」の章を参照してください。

## その他の機能拡張

HP Operations Agent 12.00 のその他の機能拡張を次に示します。

### SNMP トラップインターセプタの機能拡張

SNMP トラップインターセプタは、リモート管理ステーションまたは SNMP 対応デバイスから出力される SNMP トラップを収集し、構成に基づいて適切なイベントを生成できます。SNMP トラップインターセプタの機能拡張は次のとおりです。

- **opctrapi** プロセスは、SNMPv1、SNMPv2、SNMPv3 トラップおよび通知メッセージを傍受するように設定されています。
- **opctrapi** プロセスは、varbind のオブジェクト ID (OID) または varbind の位置に基づいて SNMP トラップを傍受できます。
- 測定しきい値ポリシーに特定のパラメータを追加することにより、監視エージェント コンポーネント (**opcmona**) を変更して、SNMPv3Get を実行させることができます。

**注:** SNMP\_SESSION\_MODE 設定変数は現在のバージョンではサポートされません。

詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Working with the HP Operations Agent」の章を参照してください。

### perfalarm の有効化

HP Operations Agent バージョン 12.00 の新規インストール後は、アラーム発生サーバー (perfalarm) がデフォルトで無効になっています。

HP Operations Agent をインストールする前に perfalarm を有効にするには、プロファイル ファイルで変数 **ENABLE\_PERFALARM** を **True** に設定してから、プロファイル ファイルを使用して HP Operations Agent をインストールします。

HP Operations Agent をインストールした後で `perfalarm` を有効にするには、コマンドライン オプションを使用します。 `perfalarm` を有効にする方法の詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』の「Prepare the Profile File」の章を参照してください。

プロファイル ファイルなしで HP Operations Agent をインストールする場合は、`alarmdef` ファイルを `/opt/perf/newconfig` から `var/opt/perf/` にコピーして、`perfalarm` を有効にします。

HP Operations Agent バージョン 11.xx から 12.00 にアップグレードした場合、`perfalarm` は以前の設定のとおり動作します。

## HP Operations Agent Health View

HP Operations Agent 状況ビューは、HP Operations Agent の状況の概要を簡単に表示できる状況監視ツールです。

HP Operations Agent Health View は、特に多数の HP Operations Agent が複数のノードにデプロイされている複雑な環境で重要な役割を果たします。たとえば、状況またはポリシーパラメータに異常がある場合、あるいはノード上で実行中のプロセスに問題がある場合には、管理ノードから警告やメッセージは受信されません。

HP Operations Agent Health View を使えば、複数の管理ノードがある複雑な環境に発生した問題をすばやく特定できます。

HP Operations Agent Health View には、次の機能があります。

- Health View に設定されているすべての HP Operations Agent の状況を、統合されたダッシュボードに表示します。
- 各管理ノードにドリルダウンして、使用中の HP Operations Agent プロセスおよびリソースのリストを表示できます。
- 各 HP Operations Agent プロセスにドリルダウンして、状況およびポリシーパラメータに関連する問題を特定できます。

HP Operations Agent 状況ビューの詳細については、『HP Operations Agent User Guide』の「Health View」を参照してください。

## HP Operations Agent から HP vPV への X86 仮想テクノロジの進化

HP Operations Smart Plug-in for Virtualization (VI SPI) および HP OMi Management Pack for Infrastructure (OMi MP for Infrastructure) ユーザーは、VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM、Xen などの x86 仮想化テクノロジ用の Virtualization Performance Viewer (HP vPV) の監視機能のみのエディションの使用を開始することができます。

HP Operations Agent および HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure バージョン 12.00 の更新内容は次のとおりです。

- Operations Agent Virtual Appliance は販売停止になります。
- VI SPI は x86 仮想化をサポートしません。

x86 仮想化テクノロジーについては、HP Operations Agent 11.1x が廃止になるまで、引き続き VI SPI および、OMi Management Pack for Infrastructure の仮想化コンポーネントを使用できます。x86 仮想化以外のテクノロジー (HPVM、AIX、Solaris) については、引き続き VI SPI および VI Management Pack を使用できます。

HP vPV へのテクノロジーの進化によって次のような主な利点が得られます。

- 拡張性と相互運用性の向上
- メトリクスの対象範囲の拡大

テクノロジーの進化により、HP vPV で同様の置き換え機能を使用できると共に、HP vPV のプレミアムエディションでは、物理、仮想、およびクラウドテクノロジーのトラブルシューティングの効率を向上させ、処理能力を最適化することができます。

詳細については、[hp.com/go/vpv](http://hp.com/go/vpv) を参照してください。

## 既知の問題

各問題の参照番号は、Quality Center Change Request (QCCR) 番号です。未解決の問題の詳細については、[HP ソフトウェア サポートオンライン](#)を参照するか、HP サポート担当者に直接お問い合わせください。

### データ アクセス要求がタイムアウトする

**oacore** プロセスは、要求がタイムアウトするよりもずっと前にデータ アクセス要求を完了します。データ アクセス要求は、到着した順序に完了されます。

大きいデータ (例: 200 万個のプロセスレコード) を要求した場合、**oacore** が要求を完了するのに通常よりも長い時間がかかることがあります。**oacore** が大きいデータ アクセス要求を処理している間に、他の要求 (dsilog、extract など) がタイムアウトすることがあります。

**回避方法:** タイムアウトエラーが発生した場合、もう一度要求する必要があります。

---

### HPOM for Windows サーバーで、HP Operations Agent の登録が失敗する

HPOM for Windows サーバーで、HP Operations Agent の登録が次のエラーで失敗します。

```
Description:(PMD97) Exception has been caught in method
COvPmdPolicyManager::AddDeploymentPackage2
ERROR: (NPREG1024) Cannot add deployment package (PD:'E:\Agent
Installer\OMWAgent_11_11\packages\WIN\Windows_X64\OVO-Agent.xml')
to policy management server (PMAD)
Error during registration.
```



このエラーが発生するのは、%OvDataDir%\shared\Packages\HTTPS ディレクトリ内のディレクトリまたはファイルが長いファイル名またはパスを持つ場合です。

**回避方法:** この問題を解決するには、長いファイル名のファイルまたはディレクトリを削除してから、登録を再実行します。

---

#### HPOM for Windows サーバーで、デプロイ可能パッケージのインストールが失敗する

HPOM for Windows サーバーで、デプロイ可能パッケージのインストールがエラー 103 - PMAD 破損エラーで失敗します。

**回避方法:** この問題を解決するには、PMAD データベースをクリーンアップする必要があります。ovpmad\_dbcleanup スクリプトを使用して、PMAD データベースから破損したエントリを削除します。ovpmad\_dbcleanup スクリプトは、HPOM for Windows サーバー専用です。

詳細については、『HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide』の「Troubleshooting」の章を参照してください。

---

#### HPUX IA システムで、HP Operations Agent 12.00 にアップグレードした後、古いデータベースにアクセスできない

HPUX IA システムで、HP Operations Agent をバージョン 11.xx から 12.00 にアップグレードすると、古いデータベース ファイルは次の場所に保存されます。

```
/var/opt/OV/tmp/BackUp
```

このデータには、ovcodutil、extract、utility、または HP Performance Manager や HP Reporter といったレポート作成ツールを使用してアクセスできません。

**回避方法:** なし

---

**QCCR1A180762:** HP Operations Agent 12.00 がインストールされている Windows x86 システムに HP Performance Manager 9.x をインストールすると、HP Operations Agent モニタ コンポーネントが削除されます。

**回避方法:** HP Operations Agent 12.00 をシステムに再インストールして、削除されたファイルとコンポーネントをすべて回復します。

**注:** HP Operations Agent 12.00 は、必ず HP Performance Manager 9.x をインストールした後でインストールしてください。

---

**QCCR1A178825:** Red Hat Enterprise Linux クラスタで、lvresize コマンドを使用して論理ボリュームのサイズを変更した後、midaemon プロセスによって LVM メタデータの破損が発生します。この破損は、クラスタ LVM デーモンが実行されていないノードが複数存在する場合に起こります。

**回避方法:** lvresize コマンドを使用する際には、midaemon プロセスを停止します。

---

**QCCR1A181713:** Windows で HP Operations Agent 12.00 がすでにインストールされている場合、BSM Connector 9.23 のインストールが失敗します。

**回避方法:** Windows では、BSM Connector 9.23 をインストールした後で HP Operations Agent 12.00 をインストールします。

---

**QCCR1A167902:** Linux で、12.00 をインストールしたときに、`/etc/passwd` file 内のユーザー `opc_op` と、`/etc/group` 内のグループ `ovgrp` が作成されません。

**回避方法:** HP Operations Agent 11.14 をインストールする前に、`groupadd opcgrp` コマンドを使用して `opcgrp` グループを手動で作成します。11.14 がすでにインストールされている場合は、次のコマンドを実行してユーザーを作成します。

```
useradd -g opcgrp -d /home/opc-op opc_op
```

## HP Computesensor Standalone Packages (vPV に付属) と HP Operations Agent 12.00 の共存

**シナリオ 1:** VM に HP Operations Agent 12.00 をインストールした後では、HP Computesensor 2.01.004 (またはそれ以前のバージョン) のインストールはサポートされていません。

**シナリオ 2:** vPV 2.2 (またはそれ以前のバージョン) がインストールされているマシンへの HP Operations Agent 12.00 のインストールはサポートされていません。

### シナリオ 3: HP Computesensor プロセスが中止状態

HP Computesensor 2.01.004 (またはそれ以前のバージョン) と HP Operations Agent 12.00 が動作している VM で、HP Computesensor 2.01.004 (またはそれ以前のバージョン) をアンインストールした場合、`hpsensor` プロセスの機能に影響が生じます。

**シナリオ 4:** VM (HP Computesensor がインストールされているもの) と HP vPV マシンの間の通信は、HP Operations Agent 12.00 が VM にインストールされると切断されます。

この問題は、HP vPV 2.20 およびそれ以前のバージョンでのみ発生します。

HP Computesensor Standalone Packages (vPV に付属) と HP Operations Agent 12.00 の共存の詳細については、『[HP Operations Agent and HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure Installation Guide](#)』を参照してください。

## 付録

### 設定メトリック

HP Operations Agent 12.00 では次の設定メトリックがログ記録されます。

## Linux

グローバル メトリック クラス	
GBL_MACHINE	GBL_OSRELEASE
GBL_OSNAME	GBL_OSVERSION
GBL_NUM_CPU	GBL_NUM_DISK
GBL_NUM_NETWORK	GBL_MACHINE_MODEL
GBL_NUM_APP	GBL_OSKERNELTYPE_INT
GBL_COLLECTOR	GBL_BOOT_TIME
GBL_GMTOFFSET	GBL_MACHINE_VENDOR
GBL_MACHINE_UUID	GBL_DISTRIBUTION
GBL_CPU_CLOCK	GBL_MEM_SHARES_PRIO
GBL_CPU_CYCLE_ENTL_MIN	GBL_CPU_CYCLE_ENTL_MAX
GBL_MEM_ENTL_MIN	GBL_MEM_ENTL_MAX
GBL_MEM_PHYS	GBL_MEM_AVAIL
GBL_SWAP_SPACE_AVAIL	GBL_SWAP_SPACE_AVAIL_KB
GBL_LS_MODE	GBL_LS_TYPE
GBL_LS_SHARED	GBL_CPU_ENTL_MIN
GBL_CPU_ENTL_MAX	GBL_LS_ROLE
GBL_NUM_LS	GBL_NUM_ACTIVE_LS
GBL_NUM_CPU_CORE	GBL_ACTIVE_CPU_CORE
GBL_CPU_SHARES_PRIO	GBL_NUM_SOCKET
GBL_JAVAARG	GBL_IGNORE_MT
GBL_THRESHOLD_PROCMEM	TBL_FILE_TABLE_AVAIL
TBL_SHMEM_TABLE_AVAIL	TBL_MSG_TABLE_AVAIL
TBL_SEM_TABLE_AVAIL	TBL_FILE_LOCK_AVAIL
TBL_INODE_CACHE_AVAIL	

## Windows

グローバル メトリック クラス	
GBL_MACHINE	GBL_OSRELEASE
GBL_OSNAME	GBL_OSVERSION
GBL_NUM_CPU	GBL_NUM_DISK
GBL_NUM_NETWORK	GBL_MACHINE_MODEL
GBL_COLLECTOR	GBL_BOOT_TIME
GBL_GMTOFFSET	GBL_MACHINE_VENDOR
GBL_MACHINE_UUID	GBL_CPU_CLOCK
GBL_MEM_SHARES_PRIO	GBL_CPU_CYCLE_ENTL_MIN
GBL_CPU_CYCLE_ENTL_MAX	GBL_MEM_ENTL_MIN
GBL_MEM_ENTL_MAX	GBL_MEM_PHYS
GBL_MEM_AVAIL	GBL_SWAP_SPACE_AVAIL
GBL_SWAP_SPACE_AVAIL_KB	GBL_LS_MODE
GBL_LS_TYPE	GBL_LS_SHARED
GBL_CPU_ENTL_MIN	GBL_CPU_ENTL_MAX
GBL_LS_ROLE	GBL_NUM_LS
GBL_NUM_ACTIVE_LS	GBL_NUM_CPU_CORE
GBL_ACTIVE_CPU_CORE	GBL_CPU_SHARES_PRIO
GBL_NUM_SOCKET	GBL_JAVAARG
GBL_IGNORE_MT	GBL_THRESHOLD_PROCMEM

## AIX

グローバル メトリック クラス	
GBL_MACHINE	GBL_OSRELEASE
GBL_OSNAME	GBL_OSVERSION

GBL_NUM_CPU	GBL_NUM_DISK
GBL_NUM_NETWORK	GBL_MACHINE_MODEL
GBL_NUM_APP	GBL_OSKERNELTYPE_INT
GBL_COLLECTOR	GBL_BOOT_TIME
GBL_GMTOFFSET	GBL_MACHINE_VENDOR
GBL_CPU_CLOCK	GBL_MEM_ENTL_MIN
GBL_MEM_ENTL_MAX	GBL_MEM_PHYS
GBL_MEM_AVAIL	GBL_SWAP_SPACE_AVAIL
GBL_SWAP_SPACE_AVAIL_KB	GBL_LS_MODE
GBL_LS_TYPE	GBL_LS_SHARED
GBL_CPU_ENTL_MIN	GBL_CPU_ENTL_MAX
GBL_LS_ROLE	GBL_NUM_CPU_CORE
GBL_ACTIVE_CPU_CORE	GBL_CPU_SHARES_PRIO
GBL_JAVAARG	GBL_IGNORE_MT
GBL_THRESHOLD_PROCMEM	TBL_FILE_TABLE_AVAIL
TBL_SHMEM_TABLE_AVAIL	TBL_MSG_TABLE_AVAIL
TBL_SEM_TABLE_AVAIL	

## Solaris

グローバル メトリック クラス	
GBL_MACHINE	GBL_OSRELEASE
GBL_OSNAME	GBL_OSVERSION
GBL_NUM_CPU	GBL_NUM_DISK
GBL_NUM_NETWORK	GBL_MACHINE_MODEL
GBL_NUM_APP	GBL_OSKERNELTYPE_INT
GBL_COLLECTOR	GBL_BOOT_TIME
GBL_GMTOFFSET	GBL_MACHINE_VENDOR

GBL_CPU_CLOCK	GBL_MEM_ENTL_MAX
GBL_MEM_PHYS	GBL_MEM_AVAIL
GBL_SWAP_SPACE_AVAIL	GBL_SWAP_SPACE_AVAIL_KB
GBL_LS_TYPE	GBL_LS_ROLE
GBL_NUM_LS	GBL_NUM_ACTIVE_LS
GBL_NUM_CPU_CORE	GBL_ACTIVE_CPU_CORE
GBL_NUM_SOCKET	GBL_JAVAARG
GBL_IGNORE_MT	GBL_THRESHOLD_PROCMEM
TBL_FILE_TABLE_AVAIL	TBL_SHMEM_TABLE_AVAIL
TBL_MSG_TABLE_AVAIL	TBL_SEM_TABLE_AVAIL
TBL_INODE_CACHE_AVAIL	

## HP-UX

グローバル メトリック クラス	
GBL_MACHINE	GBL_OSRELEASE
GBL_OSNAME	GBL_OSVERSION
GBL_NUM_CPU	GBL_NUM_DISK
GBL_NUM_NETWORK	GBL_MACHINE_MODEL
GBL_NUM_APP	GBL_OSKERNELTYPE_INT
GBL_COLLECTOR	GBL_BOOT_TIME
GBL_GMTOFFSET	GBL_MACHINE_VENDOR
GBL_CPU_CLOCK	GBL_MEM_PHYS
GBL_MEM_AVAIL	GBL_SWAP_SPACE_AVAIL
GBL_SWAP_SPACE_AVAIL_KB	GBL_LS_TYPE
GBL_LS_ROLE	GBL_NUM_LS
GBL_NUM_ACTIVE_LS	GBL_NUM_CPU_CORE
GBL_ACTIVE_CPU_CORE	GBL_NUM_SOCKET

GBL_JAVAARG	GBL_IGNORE_MT
GBL_THRESHOLD_PROCMEM	TBL_FILE_TABLE_AVAIL
TBL_SHMEM_TABLE_AVAIL	TBL_MSG_TABLE_AVAIL
TBL_SEM_TABLE_AVAIL	TBL_FILE_LOCK_AVAIL
TBL_INODE_CACHE_AVAIL	

## 新しいメトリック

次の新しいメトリックが HP Operations Agent 12.00 に追加されています。

### Linux

グローバル メトリック クラス	
GBL_ACTIVE_CPU_CORE	GBL_BLANK
GBL_COLLECTION_MODE	GBL_COMPLETED_PROC
GBL_CPU_GUEST_TIME	GBL_CPU_GUEST_UTIL
GBL_CPU_INTERRUPT_TIME	GBL_CPU_INTERRUPT_UTIL
GBL_CPU_STOLEN_TIME	GBL_CPU_STOLEN_UTIL
GBL_CPU_SYSCALL_TIME	GBL_CPU_SYSCALL_UTIL
GBL_CPU_WAIT_TIME	GBL_DISK_PHYS_READ_BYTE
GBL_DISK_PHYS_WRITE_BYTE	GBL_DISK_PHYS_WRITE_PCT
GBL_DISK_SUBSYSTEM_QUEUE	GBL_DISK_SUBSYSTEM_WAIT_PCT
GBL_DISK_SUBSYSTEM_WAIT_TIME	GBL_LOST_MI_FTRACE_BUFFERS
GBL_MAC_ADDR_LIST	GBL_MACHINE_UUID
GBL_MACHINE_VENDOR	GBL_NET_IN_ERROR
GBL_NET_OUT_ERROR	GBL_NET_PACKET
GBL_NET_UTIL_PEAK	GBL_NFS_CLIENT_BAD_CALL
GBL_NFS_CLIENT_CALL	GBL_NFS_CLIENT_CALL_RATE
GBL_NFS_CLIENT_IO	GBL_NFS_CLIENT_IO_PCT

GBL_NFS_CLIENT_IO_RATE	GBL_NFS_CLIENT_READ_RATE
GBL_NFS_CLIENT_WRITE_RATE	GBL_NFS_SERVER_BAD_CALL
GBL_NFS_SERVER_CALL	GBL_NFS_SERVER_CALL_RATE
GBL_NFS_SERVER_IO	GBL_NFS_SERVER_IO_PCT
GBL_NFS_SERVER_IO_RATE	GBL_NFS_SERVER_READ_RATE
GBL_NFS_SERVER_WRITE_RATE	GBL_NODENAME
GBL_NUM_LV	GBL_NUM_SWAP
GBL_NUM_TT	GBL_NUM_VG
GBL_OSKERNELTYPE	GBL_PRI_QUEUE
GBL_PRI_WAIT_PCT	GBL_PRI_WAIT_TIME
GBL_SAMPLE	GBL_SERIALNO
GBL_STARTDATE	GBL_STARTTIME
GBL_STATDATE	GBL_SWAP_SPACE_DEVICE_UTIL
GBL_SYSTEM_TYPE	GBL_THRESHOLD_PROCCPU
GBL_THRESHOLD_PROCDISK	GBL_THRESHOLD_PROCIO
GBL_ZOMBIE_PROC	TBL_BUFFER_HEADER_AVAIL
TBL_BUFFER_HEADER_USED	TBL_BUFFER_HEADER_UTIL
TBL_MSG_BUFFER_ACTIVE	TBL_MSG_BUFFER_AVAIL
TBL_MSG_BUFFER_USED	TBL_MSG_TABLE_ACTIVE
TBL_NUM_NFSDS	TBL_SEM_TABLE_ACTIVE
TBL_SHMEM_AVAIL	TBL_SHMEM_TABLE_ACTIVE
<b>アプリケーション メトリック クラス</b>	
APP_ACTIVE_APP	APP_DISK_PHYS_IO
APP_DISK_PHYS_IO_RATE	APP_DISK_PHYS_READ
APP_DISK_PHYS_READ_RATE	APP_DISK_PHYS_WRITE
APP_DISK_PHYS_WRITE_RATE	APP_DISK_SUBSYSTEM_QUEUE
APP_DISK_SUBSYSTEM_WAIT_PCT	APP_INTERVAL



APP_IO_BYTE	APP_IO_BYTE_RATE
APP_PRI_WAIT_PCT	APP_TIME
<b>コア メトリック クラス</b>	
BYCORE_CORE_ID	BYCORE_IDLE_TIME
BYCORE_IDLE_UTIL	BYCORE_INTERRUPT_TIME
BYCORE_INTERRUPT_UTIL	BYCORE_NICE_TIME
BYCORE_NICE_UTIL	BYCORE_SOCKET_ID
BYCORE_SYS_MODE_TIME	BYCORE_SYS_MODE_UTIL
BYCORE_TOTAL_TIME	BYCORE_TOTAL_UTIL
BYCORE_USER_MODE_TIME	BYCORE_USER_MODE_UTIL
BYCORE_WAIT_TIME	BYCORE_WAIT_UTIL
<b>CPU メトリック クラス</b>	
BYCPU_ACTIVE	BYCPU_CORE_ID
BYCPU_CPU_GUEST_TIME	BYCPU_CPU_GUEST_UTIL
BYCPU_CPU_INTERRUPT_TIME	BYCPU_CPU_INTERRUPT_UTIL
BYCPU_CPU_NICE_TIME	BYCPU_CPU_NICE_UTIL
BYCPU_CPU_STOLEN_TIME	BYCPU_CPU_STOLEN_UTIL
BYCPU_CPU_SYSCALL_TIME	BYCPU_CPU_SYSCALL_UTIL
BYCPU_CPU_TYPE	
<b>ディスク メトリック クラス</b>	
BYDSK_AVG_WAIT_TIME	BYDSK_DEVNO
BYDSK_INTERVAL	BYDSK_QUEUE_0_UTIL
BYDSK_QUEUE_2_UTIL	BYDSK_QUEUE_4_UTIL
BYDSK_QUEUE_8_UTIL	BYDSK_QUEUE_X_UTIL
BYDSK_TIME	
<b>ファイル システム メトリック クラス</b>	
FS_IS_LVM	FS_PHYS_IO_RATE

FS_PHYS_READ_BYTE_RATE	FS_PHYS_READ_RATE
FS_PHYS_WRITE_BYTE_RATE	FS_PHYS_WRITE_RATE
<b>ネットワーク インターフェイス メトリック クラス</b>	
BYNETIF_MAC_ADDR	BYNETIF_NET_SPEED
BYNETIF_UTIL	
<b>プロセス メトリック クラス</b>	
PROC_APP_NAME	PROC_CHILD_CPU_SYS_MODE_UTIL
PROC_CHILD_CPU_TOTAL_UTIL	PROC_CHILD_CPU_USER_MODE_UTIL
PROC_CPU_LAST_USED	PROC_CPU_SWITCHES
PROC_CPU_SYSCALL_TIME	PROC_CPU_SYSCALL_UTIL
PROC_DISK_PHYS_IO_RATE	PROC_DISK_PHYS_READ
PROC_DISK_PHYS_READ_RATE	PROC_DISK_PHYS_WRITE
PROC_DISK_PHYS_WRITE_RATE	PROC_DISK_SUBSYSTEM_WAIT_PCT
PROC_DISK_SUBSYSTEM_WAIT_TIME	PROC_FORCED_CSWITCH
PROC_GROUP_NAME	PROC_INTERVAL
PROC_IO_BYTE	PROC_IO_BYTE_RATE
PROC_MEM_DATA_VIRT	PROC_MEM_LOCKED
PROC_MEM_SHARED_RES	PROC_MEM_STACK_VIRT
PROC_MEM_TEXT_VIRT	PROC_NICE_PRI
PROC_PRI_WAIT_PCT	PROC_PRI_WAIT_TIME
PROC_SCHEDULER	PROC_STATE
PROC_STATE_FLAG	PROC_STOP_REASON_FLAG
PROC_THREAD_ID	PROC_TIME
PROC_TOP_CPU_INDEX	PROC_TOP_DISK_INDEX
PROC_TTY_DEV	PROC_UID
PROC_VOLUNTARY_CSWITCH	
<b>トランザクション メトリック クラス</b>	

TT_ABORT_WALL_TIME	TT_APPNO TT_FAILED_WALL_TIME
TT_INPROGRESS_COUNT	TT_INTERVAL
TT_MEASUREMENT_COUNT	TT_UID
TT_UPDATE	TT_WALL_TIME
<b>論理ボリューム メトリック クラス</b>	
LV_DEVNO	LV_DIRNAME
LV_GROUP_NAME	LV_PHYSLV_SIZE
LV_READ_BYTE_RATE	LV_READ_RATE
LV_SPACE_UTIL	LV_TYPE
LV_WRITE_BYTE_RATE	LV_WRITE_RATE

## Windows

<b>グローバル メトリック クラス</b>	
GBL_COLLECTION_MODE	GBL_DISK_PHYS_READ_BYTE
GBL_DISK_PHYS_WRITE_BYTE	GBL_JAVAARG
GBL_MAC_ADDR_LIST	GBL_MACHINE_MODEL
GBL_MACHINE_UUID	GBL_MACHINE_VENDOR
GBL_NET_PACKET	GBL_NODENAME
GBL_STARTDATE	GBL_STARTTIME
GBL_STATDATE	GBL_SYSTEM_TYPE
GBL_THRESHOLD_PROCCPU	GBL_THRESHOLD_PROCIO
GBL_WEB_ALLOWED_ASYNC_IO	GBL_WEB_ANONYMOUS_USERS
GBL_WEB_BLOCKED_ASYNC_IO	GBL_WEB_FILES_RECEIVED
GBL_WEB_FILES_SENT	GBL_WEB_LOGON_ATTEMPTS
GBL_WEB_MAX_CONNECTIONS	GBL_WEB_NONANONYMOUS_USERS
<b>アプリケーション メトリック クラス</b>	
APP_INTERVAL	APP_MINOR_FAULT

コア メトリック クラス	
BYCORE_CORE_ID	BYCORE_IDLE_TIME
BYCORE_IDLE_UTIL	BYCORE_INTERRUPT_TIME
BYCORE_INTERRUPT_UTIL	BYCORE_SOCKET_ID
BYCORE_SYS_MODE_TIME	BYCORE_SYS_MODE_UTIL
BYCORE_TOTAL_TIME	BYCORE_TOTAL_UTIL
BYCORE_USER_MODE_TIME	BYCORE_USER_MODE_UTIL
CPU メトリック クラス	
BYCPU_CORE_ID	
ディスク メトリック クラス	
BYDSK_INTERVAL	
ファイル システム メトリック クラス	
FS_DEVNO	FS_FRAG_SIZE
FS_PHYS_READ_BYTE_RATE	FS_PHYS_READ_RATE
FS_PHYS_WRITE_BYTE_RATE	FS_PHYS_WRITE_RATE
ネットワーク インターフェイス メトリック クラス	
BYNETIF_MAC_ADDR	
プロセス メトリック クラス	
PROC_APP_NAME	PROC_HANDLE_COUNT
PROC_INTERVAL	PROC_PROC_ARGV1
PROC_PROC_CMD	PROC_STATE
トランザクション メトリック クラス	
TT_ABORT_WALL_TIME	TT_APPNO
TT_FAILED_WALL_TIME	TT_INPROGRESS_COUNT
TT_INTERVAL	TT_MEASUREMENT_COUNT
TT_UPDATE	TT_WALL_TIME

## AIX

グローバル メトリック クラス	
TBL_AUTO_START_ENABLE	TBL_BUFFER_CACHE_USED
TBL_BUFFER_HEADER_AVAIL	TBL_BUFFER_HEADER_USED
TBL_BUFFER_HEADER_UTIL	TBL_CBLOCK_TABLE_AVAIL
TBL_CLK_TICK_LENGTH	TBL_DISKIO_HIST_ENABLE
TBL_ELAPSED_RESUSPEN_PROCESS	TBL_FILE_TABLE_AVAIL
TBL_FILE_TABLE_USED	TBL_FILE_TABLE_UTIL
TBL_FORK_RETRY_CLK_TICK	TBL_LEAST_PRIV_ENABLE
TBL_MEM_SCRUB_ENABLE	TBL_MIN_MULTI_PROGRAM
TBL_MSG_BUFFER_ACTIVE	TBL_MSG_BUFFER_AVAIL
TBL_MSG_BUFFER_USED	TBL_MSG_TABLE_ACTIVE
TBL_MSG_TABLE_AVAIL	TBL_MSG_TABLE_UTIL
TBL_PROC_MEM_THRESHOLD	TBL_PROC_TABLE_USED
TBL_SEM_TABLE_ACTIVE	TBL_SEM_TABLE_AVAIL
TBL_SEM_TABLE_UTIL	TBL_SHMEM_AVAIL
TBL_SHMEM_REQUESTED	TBL_SHMEM_TABLE_ACTIVE
TBL_SHMEM_TABLE_AVAIL	TBL_SHMEM_TABLE_UTIL
TBL_THREAD_TABLE_AVAIL	TBL_WAIT_REACTIVATE_PROCESS
GBL_BLANK	GBL_COLLECTION_MODE
GBL_CPU_PHYS_IDLE_UTIL	GBL_CPU_PHYS_WAIT_UTIL
GBL_DISK_BLOCK_IO_PCT	GBL_DISK_PHYS_READ_BYTE
GBL_DISK_PHYS_WRITE_BYTE	GBL_DISK_PHYS_WRITE_PCT
GBL_DISK_RAW_IO_PCT	GBL_DISK_SPACE_UTIL
GBL_DISK_UTIL	GBL_DISK_VM_IO_PCT
GBL_FREE_FRAME_CURR	GBL_FREE_FRAME_LOWER_THRESHOLD

GBL_FREE_FRAME_UPPER_THRESHOLD	GBL_LS_CPU_DEDICATED_CONSUMED
GBL_LS_CPU_SHARED_CONSUMED	GBL_MAC_ADDR_LIST
GBL_MACHINE_VENDOR	GBL_MEM_CACHE
GBL_MEM_CACHE_HIT	GBL_MEM_CLK_HAND_CYCLE
GBL_MEM_CLK_HAND_CYCLE_RATE	GBL_MEM_EXECFILL_PG
GBL_MEM_EXECFILL_PG_RATE	GBL_MEM_FRAME_WAIT_QUEUE
GBL_MEM_IO_DONE	GBL_MEM_IO_DONE_RATE
GBL_MEM_IOPEND_QUEUE	GBL_MEM_IO_START
GBL_MEM_IO_START_RATE	GBL_MEM_LCK_MISS
GBL_MEM_LCK_MISS_RATE	GBL_MEM_OVER_COMMIT
GBL_MEM_PAGE_RECLAIM	GBL_MEM_PAGE_RECLAIM_RATE
GBL_MEM_PG_STEAL	GBL_MEM_SWAP
GBL_MEM_SWAPIN	GBL_MEM_SWAPOUT
GBL_MEM_SWAP_RATE	GBL_MEM_SYS
GBL_MEM_USER	GBL_MEM_VM_BACKTRACK
GBL_MEM_VM_BACKTRACK_RATE	GBL_MEM_ZEROFILL_PG
GBL_MEM_ZEROFILL_PG_RATE	GBL_NET_COLLISION
GBL_NET_DEFERRED	GBL_NET_DEFERRED_RATE
GBL_NET_ERROR	GBL_NET_IN_ERROR
GBL_NET_OUT_ERROR	GBL_NET_PACKET
GBL_NFS_CLIENT_BAD_CALL	GBL_NFS_CLIENT_CALL
GBL_NFS_CLIENT_CALL_RATE	GBL_NFS_CLIENT_IO
GBL_NFS_CLIENT_IO_PCT	GBL_NFS_CLIENT_IO_RATE
GBL_NFS_CLIENT_READ_RATE	GBL_NFS_CLIENT_WRITE_RATE
GBL_NFS_SERVER_BAD_CALL	GBL_NFS_SERVER_CALL
GBL_NFS_SERVER_CALL_RATE	GBL_NFS_SERVER_IO
GBL_NFS_SERVER_IO_PCT	GBL_NFS_SERVER_IO_RATE

GBL_NFS_SERVER_READ_RATE	GBL_NFS_SERVER_WRITE_RATE
GBL_NODENAME GBL_NUM_APP	GBL_NUM_SWAP
GBL_NUM_TT	GBL_NUM_VG
GBL_OSKERNELTYPE	GBL_OSKERNELTYPE_INT
GBL_POOL_IDLE_TIME	GBL_SAMPLE
GBL_SERIALNO	GBL_STARTDATE
GBL_STARTTIME	GBL_STATDATE
GBL_SYSCALL_BYTE_RATE	GBL_SYSCALL_READ
GBL_SYSCALL_READ_BYTE	GBL_SYSCALL_READ_PCT
GBL_SYSCALL_READ_RATE	GBL_SYSCALL_WRITE
GBL_SYSCALL_WRITE_BYTE	GBL_SYSCALL_WRITE_PCT
GBL_SYSCALL_WRITE_RATE	GBL_SYSTEM_TYPE
GBL_THRESHOLD_PROCCPU	GBL_THRESHOLD_PROCDISK
GBL_THRESHOLD_PROCIO	GBL_ZOMBIE_PROC
<b>アプリケーション メトリック クラス</b>	
APP_ACTIVE_APP	APP_INTERVAL
APP_MAJOR_FAULT	APP_MINOR_FAULT
APP_TIME	
<b>CPU メトリック クラス</b>	
BYCPU_ACTIVE	BYCPU_CPU_TYPE
BYCPU_CSWITCH	BYCPU_EXEC_RATE
BYCPU_FORK	BYCPU_FORK_RATE
BYCPU_READ_RATE	BYCPU_WRITE_RATE
<b>ディスク メトリック クラス</b>	
BYDSK_CURR_QUEUE_LENGTH	BYDSK_DEVNO
BYDSK_INTERVAL	BYDSK_QUEUE_0_UTIL
BYDSK_QUEUE_2_UTIL	BYDSK_QUEUE_4_UTIL

BYDSK_QUEUE_8_UTIL	BYDSK_QUEUE_X_UTIL
BYDSK_TIME	
<b>ファイル システム メトリック クラス</b>	
FS_DEVNO	
<b>ネットワーク インターフェイス メトリック クラス</b>	
BYNETIF_COLLISION_1_MIN_RATE	BYNETIF_DEFERRED
BYNETIF_DEFERRED_RATE	BYNETIF_ERROR_1_MIN_RATE
BYNETIF_MAC_ADDR	
<b>プロセス メトリック クラス</b>	
PROC_APP_NAME	PROC_CHILD_CPU_SYS_MODE_UTIL
PROC_CHILD_CPU_TOTAL_UTIL	PROC_CHILD_CPU_USER_MODE_UTIL
PROC_EUID	PROC_GROUP_NAME
PROC_INTERVAL	PROC_MEM_DATA_RES
PROC_MEM_DATA_VIRT	PROC_MEM_PRIVATE_RES
PROC_MEM_SHARED_RES	PROC_MEM_STACK_VIRT
PROC_MEM_TEXT_RES	PROC_MEM_TEXT_VIRT
PROC_NICE_PRI	PROC_SIGNAL
PROC_STATE	PROC_STATE_FLAG
PROC_STOP_REASON_FLAG	PROC_THREAD_ACTIVE
PROC_THREAD_SUSPENDED	PROC_THREAD_TERMINATED
PROC_TIME	PROC_TOP_CPU_INDEX
PROC_TOP_DISK_INDEX	PROC_TTY_DEV
PROC_UID	
<b>トランザクション メトリック クラス</b>	
TT_ABORT_WALL_TIME	TT_APPNO
TT_FAILED_WALL_TIME	TT_INPROGRESS_COUNT
TT_INTERVAL	TT_MEASUREMENT_COUNT



TT_UPDATE	TT_WALL_TIME
<b>論理ボリューム メトリック クラス</b>	
LV_DIRNAME	LV_GROUP_NAME
LV_INTERVAL	LV_LOGLP_LV
LV_MIRRORCONSIST_LV	LV_MIRRORP_LV
LV_OPEN_LV	LV_OPEN_PV
LV_PHYSLV_SIZE	LV_STATE_LV
LV_TYPE	LV_WRITEV_LV

## Solaris

<b>グローバル メトリック クラス</b>	
TBL_BUFFER_CACHE_HWM	TBL_BUFFER_HEADER_AVAIL
TBL_BUFFER_HEADER_USED	TBL_BUFFER_HEADER_UTIL
TBL_FILE_TABLE_USED	TBL_MAX_USERS
TBL_MSG_BUFFER_ACTIVE	TBL_MSG_BUFFER_AVAIL
TBL_MSG_BUFFER_USED	TBL_MSG_TABLE_ACTIVE
TBL_NUM_NFSDS	TBL_PROC_TABLE_USED
TBL_PTY_AVAIL	TBL_PTY_USED
TBL_PTY_UTIL	TBL_SEM_TABLE_ACTIVE
TBL_SHMEM_AVAIL	TBL_SHMEM_TABLE_ACTIVE
GBL_BLANK	GBL_COLLECTION_MODE
GBL_CPU_SYSCALL_TIME	GBL_CPU_SYSCALL_UTIL
GBL_DISK_BLOCK_IO_PCT	GBL_DISK_FILE_IO
GBL_DISK_FILE_IO_PCT	GBL_DISK_FILE_IO_RATE
GBL_DISK_LOGL_IO	GBL_DISK_LOGL_IO_RATE
GBL_DISK_LOGL_READ	GBL_DISK_LOGL_READ_PCT
GBL_DISK_LOGL_WRITE	GBL_DISK_LOGL_WRITE_PCT

GBL_DISK_PHYS_READ_BYTE	GBL_DISK_PHYS_WRITE_BYTE
GBL_DISK_PHYS_WRITE_PCT	GBL_DISK_RAW_IO_PCT
GBL_DISK_UTIL	GBL_DISK_VM_IO_PCT
GBL_MAC_ADDR_LIST	GBL_MACHINE_VENDOR
GBL_MEM_ARC	GBL_MEM_CACHE
GBL_MEM_CACHE_HIT	GBL_MEM_DNLC_HIT
GBL_MEM_DNLC_LONGS	GBL_MEM_DNLC_LONGS_PCT
GBL_MEM_SWAP	GBL_MEM_SWAP_1_MIN_RATE
GBL_MEM_SWAPIN	GBL_MEM_SWAPOUT
GBL_MEM_SWAP_RATE	GBL_MEM_SYS
GBL_MEM_USER	GBL_NET_COLLISION
GBL_NET_DEFERRED	GBL_NET_DEFERRED_RATE
GBL_NET_ERROR	GBL_NET_IN_ERROR
GBL_NET_OUT_ERROR	GBL_NET_PACKET
GBL_NFS_CLIENT_BAD_CALL	GBL_NFS_CLIENT_CALL
GBL_NFS_CLIENT_CALL_RATE	GBL_NFS_CLIENT_IO
GBL_NFS_CLIENT_IO_PCT	GBL_NFS_CLIENT_IO_RATE
GBL_NFS_CLIENT_READ_RATE	GBL_NFS_CLIENT_WRITE_RATE
GBL_NFS_SERVER_BAD_CALL	GBL_NFS_SERVER_CALL
GBL_NFS_SERVER_CALL_RATE	GBL_NFS_SERVER_IO
GBL_NFS_SERVER_IO_PCT	GBL_NFS_SERVER_IO_RATE
GBL_NFS_SERVER_READ_RATE	GBL_NFS_SERVER_WRITE_RATE
GBL_NODENAME	GBL_NUM_APP
GBL_NUM_LV	GBL_NUM_SWAP
GBL_NUM_TT	GBL_NUM_VG
GBL_OSKERNELTYPE	GBL_OSKERNELTYPE_INT
GBL_RENICE_PRI_LIMIT	GBL_SAMPLE

GBL_SERIALNO	GBL_STARTDATE
GBL_STARTTIME	GBL_STATDATE
GBL_SWAP_RESERVED_ONLY_UTIL	GBL_SWAP_SPACE_DEVICE_UTIL
GBL_SWAP_SPACE_MEM_UTIL	GBL_SWAP_SPACE_RESERVED_UTIL
GBL_SYSCALL_BYTE_RATE	GBL_SYSCALL_READ
GBL_SYSCALL_READ_BYTE	GBL_SYSCALL_READ_PCT
GBL_SYSCALL_READ_RATE	GBL_SYSCALL_WRITE
GBL_SYSCALL_WRITE_BYTE	GBL_SYSCALL_WRITE_PCT
GBL_SYSCALL_WRITE_RATE	GBL_SYSTEM_TYPE
GBL_THRESHOLD_PROCCPU	GBL_THRESHOLD_PROCDISK
GBL_THRESHOLD_PROCIO	GBL_ZOMBIE_PROC
<b>アプリケーション メトリック クラス</b>	
APP_ACTIVE_APP	APP_INTERVAL
APP_MAJOR_FAULT	APP_MINOR_FAULT
APP_PRI APP_TIME	
<b>コア メトリック クラス</b>	
BYCORE_CORE_ID	BYCORE_IDLE_TIME
BYCORE_IDLE_UTIL	BYCORE_SOCKET_ID
BYCORE_SYS_MODE_TIME	BYCORE_SYS_MODE_UTIL
BYCORE_TOTAL_TIME	BYCORE_TOTAL_UTIL
BYCORE_USER_MODE_TIME	BYCORE_USER_MODE_UTIL
BYCORE_WAIT_TIME	BYCORE_WAIT_UTIL
<b>CPU メトリック クラス</b>	
BYCPU_ACTIVE	BYCPU_CORE_ID
BYCPU_CPU_SYSCALL_TIME	BYCPU_CPU_SYSCALL_UTIL
BYCPU_CPU_TYPE	BYCPU_CSWITCH
<b>ディスク メトリック クラス</b>	

BYDSK_CURR_QUEUE_LENGTH	BYDSK_DEVNO
BYDSK_INTERVAL	BYDSK_QUEUE_0_UTIL
BYDSK_QUEUE_2_UTIL	BYDSK_QUEUE_4_UTIL
BYDSK_QUEUE_8_UTIL	BYDSK_QUEUE_X_UTIL
BYDSK_TIME	
<b>ファイル システム メトリック クラス</b>	
FS_DEVNO	
<b>ネットワーク インターフェイス メトリック クラス</b>	
BYNETIF_COLLISION_1_MIN_RATE	BYNETIF_DEFERRED
BYNETIF_DEFERRED_RATE	BYNETIF_ERROR_1_MIN_RATE
BYNETIF_MAC_ADDR	
<b>プロセス メトリック クラス</b>	
PROC_EUID	PROC_FORCED_CSWITCH
PROC_GROUP_NAME	PROC_INTERVAL
PROC_MEM_DATA_VIRT	PROC_MEM_STACK_VIRT
PROC_NICE_PRI	PROC_PRI
PROC_SIGNAL	PROC_STATE
PROC_STATE_FLAG	PROC_STOP_REASON_FLAG
PROC_SYSCALL	PROC_TOP_CPU_INDEX
PROC_TOP_DISK_INDEX	PROC_TTY_DEV
PROC_UID	PROC_VOLUNTARY_CSWITCH
PROC_APP_NAME	PROC_CHILD_CPU_SYS_MODE_UTIL
PROC_CHILD_CPU_TOTAL_UTIL	PROC_CHILD_CPU_USER_MODE_UTIL
<b>トランザクション メトリック クラス</b>	
TT_ABORT_WALL_TIME	TT_APPNO
TT_FAILED_WALL_TIME	TT_INPROGRESS_COUNT
TT_INTERVAL	TT_MEASUREMENT_COUNT

TT_UID	TT_UPDATE
TT_WALL_TIME	
<b>論理システム メトリック クラス</b>	
BYLS_LS_MODE_MEM	BYLS_LS_UUID
<b>論理ボリューム メトリック クラス</b>	
LV_AVG_READ_SERVICE_TIME	LV_AVG_WRITE_SERVICE_TIME
LV_DEVNO	LV_INTERVAL
LV_LOGLP_LV	LV_OPEN_LV
LV_PHYSLV_SIZE	LV_STATE_LV
LV_TYPE	LV_TYPE_LV

## HP-UX

<b>グローバル メトリック クラス</b>	
TBL_BUFFER_CACHE_MAX	TBL_BUFFER_CACHE_MIN
TBL_BUFFER_HEADER_AVAIL	TBL_BUFFER_HEADER_USED
TBL_BUFFER_HEADER_UTIL	TBL_DNLC_CACHE_AVAIL
TBL_FILE_TABLE_USED	TBL_MSG_BUFFER_AVAIL
TBL_MSG_BUFFER_USED	TBL_PROC_TABLE_USED
TBL_PTY_AVAIL	TBL_PTY_USED
TBL_PTY_UTIL	TBL_SHMEM_AVAIL
TBL_SHMEM_REQUESTED	GBL_BLANK
GBL_CACHE_QUEUE	GBL_CACHE_WAIT_PCT
GBL_CACHE_WAIT_TIME	GBL_CDFS_QUEUE
GBL_CDFS_WAIT_PCT	GBL_CDFS_WAIT_TIME
GBL_COLLECTION_MODE	GBL_CPU_NNICE_TIME
GBL_CPU_NNICE_UTIL	GBL_CPU_TRAP_TIME
GBL_CPU_TRAP_UTIL	GBL_CPU_VFAULT_TIME

GBL_CPU_VFAULT_UTIL	GBL_CPU_WAIT_TIME
GBL_DISK_FS_BYTE	GBL_DISK_FS_IO_PCT
GBL_DISK_LOGL_BYTE_RATE	GBL_DISK_LOGL_READ_PCT
GBL_DISK_LOGL_WRITE_PCT	GBL_DISK_PHYS_READ_BYTE
GBL_DISK_PHYS_WRITE_BYTE	GBL_DISK_PHYS_WRITE_PCT
GBL_DISK_QUEUE	GBL_DISK_RAW_BYTE
GBL_DISK_RAW_IO_PCT	GBL_DISK_REM_FS_BYTE
GBL_DISK_REM_FS_IO	GBL_DISK_REM_FS_IO_PCT
GBL_DISK_REM_FS_IO_RATE	GBL_DISK_REM_LOGL_READ
GBL_DISK_REM_LOGL_READ_BYTE	GBL_DISK_REM_LOGL_READ_PCT
GBL_DISK_REM_LOGL_READ_RATE	GBL_DISK_REM_LOGL_WRITE
GBL_DISK_REM_LOGL_WRITE_BYTE	GBL_DISK_REM_LOGL_WRITE_PCT
GBL_DISK_REM_LOGL_WRITE_RATE	GBL_DISK_REM_PHYS_READ
GBL_DISK_REM_PHYS_READ_BYTE	GBL_DISK_REM_PHYS_READ_PCT
GBL_DISK_REM_PHYS_READ_RATE	GBL_DISK_REM_PHYS_WRITE
GBL_DISK_REM_PHYS_WRITE_BYTE	GBL_DISK_REM_PHYS_WRITE_PCT
GBL_DISK_REM_PHYS_WRITE_RATE	GBL_DISK_REM_RAW_BYTE
GBL_DISK_REM_RAW_IO	GBL_DISK_REM_RAW_IO_PCT
GBL_DISK_REM_RAW_IO_RATE	GBL_DISK_REM_SYSTEM_BYTE
GBL_DISK_REM_SYSTEM_IO	GBL_DISK_REM_SYSTEM_IO_PCT
GBL_DISK_REM_SYSTEM_IO_RATE	GBL_DISK_REM_VM_BYTE
GBL_DISK_REM_VM_IO	GBL_DISK_REM_VM_IO_PCT
GBL_DISK_REM_VM_IO_RATE	GBL_DISK_SUBSYSTEM_WAIT_PCT
GBL_DISK_SUBSYSTEM_WAIT_TIME	GBL_DISK_SYSTEM_BYTE
GBL_DISK_SYSTEM_IO_PCT	GBL_DISK_UTIL
GBL_DISK_UTIL_PEAK_OTHERS	GBL_DISK_UTIL_PEAK_VM
GBL_DISK_VM_BYTE	GBL_DISK_VM_IO_PCT

GBL_DISK_WAIT_PCT	GBL_DISK_WAIT_TIME
GBL_GRAPHICS_QUEUE	GBL_GRAPHICS_WAIT_PCT
GBL_GRAPHICS_WAIT_TIME	GBL_INODE_QUEUE
GBL_INODE_WAIT_PCT	GBL_INODE_WAIT_TIME
GBL_IPC_QUEUE	GBL_IPC_SUBSYSTEM_WAIT_PCT
GBL_IPC_WAIT_PCT	GBL_IPC_WAIT_TIME
GBL_JOBCTL_QUEUE	GBL_JOBCTL_WAIT_PCT
GBL_JOBCTL_WAIT_TIME	GBL_LAN_QUEUE
GBL_LAN_WAIT_PCT	GBL_LAN_WAIT_TIME
GBL_MAC_ADDR_LIST	GBL_MACHINE_VENDOR
GBL_MEM_CACHE	GBL_MEM_CACHE_HIT
GBL_MEM_DNLC_HIT	GBL_MEM_DNLC_LONGS
GBL_MEM_DNLC_LONGS_PCT	GBL_MEMFS_BLK_CNT
GBL_MEMFS_SWP_CNT	GBL_MEM_PAGE_SIZE_MAX
GBL_MEM_SWAP_1_MIN_RATE	GBL_MEM_SWAPIN
GBL_MEM_SWAPOUT	GBL_MEM_SWAP_RATE
GBL_MEM_SYS	GBL_MEM_USER
GBL_MEM_WAIT_PCT	GBL_MEM_WAIT_TIME
GBL_MI_LOST_PROC	GBL_MI_PROC_ENTRIES
GBL_MI_THREAD_ENTRIES	GBL_MSG_QUEUE
GBL_MSG_WAIT_PCT	GBL_MSG_WAIT_TIME
GBL_NET_COLLISION	GBL_NET_DEFERRED
GBL_NET_DEFERRED_RATE	GBL_NET_ERROR
GBL_NET_IN_ERROR	GBL_NET_IP_FRAGMENTS_RECEIVED
GBL_NET_IP_FWD_DATAGRAMS	GBL_NET_IP_REASSEMBLY_REQUIRED
GBL_NET_OUT_ERROR	GBL_NET_PACKET
GBL_NETWORK_SUBSYSTEM_WAIT_PCT	GBL_NFS_CLIENT_BAD_CALL

GBL_NFS_CLIENT_BIOD	GBL_NFS_CLIENT_BYTE
GBL_NFS_CLIENT_CALL	GBL_NFS_CLIENT_CALL_RATE
GBL_NFS_CLIENT_IDLE_BIOD	GBL_NFS_CLIENT_IO
GBL_NFS_CLIENT_IO_PCT	GBL_NFS_CLIENT_IO_RATE
GBL_NFS_CLIENT_PHYS_TIME	GBL_NFS_CLIENT_READ_BYTE_RATE
GBL_NFS_CLIENT_READ_RATE	GBL_NFS_CLIENT_SERVICE_QUEUE
GBL_NFS_CLIENT_SERVICE_TIME	GBL_NFS_CLIENT_WRITE_BYTE_RATE
GBL_NFS_CLIENT_WRITE_RATE	GBL_NFS_LOGL_READ
GBL_NFS_LOGL_READ_BYTE	GBL_NFS_LOGL_READ_PCT
GBL_NFS_LOGL_READ_RATE	GBL_NFS_LOGL_WRITE
GBL_NFS_LOGL_WRITE_BYTE	GBL_NFS_LOGL_WRITE_PCT
GBL_NFS_LOGL_WRITE_RATE	GBL_NFS_QUEUE
GBL_NFS_SERVER_BAD_CALL	GBL_NFS_SERVER_BYTE
GBL_NFS_SERVER_CALL	GBL_NFS_SERVER_CALL_RATE
GBL_NFS_SERVER_IO	GBL_NFS_SERVER_IO_PCT
GBL_NFS_SERVER_IO_RATE	GBL_NFS_SERVER_READ_BYTE_RATE
GBL_NFS_SERVER_READ_RATE	GBL_NFS_SERVER_SERVICE_TIME
GBL_NFS_SERVER_WRITE_BYTE_RATE	GBL_NFS_SERVER_WRITE_RATE
GBL_NFS_WAIT_PCT	GBL_NFS_WAIT_TIME
GBL_NODENAME	GBL_NUM_APP
GBL_NUM_APP_PRM	GBL_NUM_HBA
GBL_NUM_LDOM	GBL_NUM_SWAP
GBL_NUM_TAPE	GBL_NUM_TT
GBL_NUM_VG	GBL_OSKERNELTYPE
GBL_OTHER_IO_QUEUE	GBL_OTHER_IO_WAIT_PCT
GBL_OTHER_IO_WAIT_TIME	GBL_OTHER_WAIT_PCT
GBL_OTHER_WAIT_TIME	GBL_PIPE_QUEUE



GBL_PIPE_WAIT_PCT	GBL_PIPE_WAIT_TIME
GBL_PRI_WAIT_PCT	GBL_PRI_WAIT_TIME
GBL_PRM_MEM_UTIL	GBL_RPC_QUEUE
GBL_RPC_WAIT_PCT	GBL_RPC_WAIT_TIME
GBL_SAMPLE	GBL_SEM_QUEUE
GBL_SEM_WAIT_PCT	GBL_SEM_WAIT_TIME
GBL_SERIALNO	GBL_SLEEP_WAIT_PCT
GBL_SLEEP_WAIT_TIME	GBL_SOCKET_QUEUE
GBL_SOCKET_WAIT_PCT	GBL_SOCKET_WAIT_TIME
GBL_STARTDATE	GBL_STARTTIME
GBL_STATDATE	GBL_STREAM_QUEUE
GBL_STREAM_WAIT_PCT	GBL_STREAM_WAIT_TIME
GBL_SWAP_RESERVED_ONLY_UTIL	GBL_SWAP_SPACE_DEVICE_UTIL
GBL_SWAP_SPACE_FS_UTIL	GBL_SWAP_SPACE_RESERVED_UTIL
GBL_SYS_QUEUE	GBL_SYSTEM_TYPE
GBL_SYS_WAIT_PCT	GBL_SYS_WAIT_TIME
GBL_TERM_IO_WAIT_PCT	GBL_TERM_IO_WAIT_TIME
GBL_THRESHOLD_PROCCPU	GBL_THRESHOLD_PROCDISK
GBL_THRESHOLD_PROCIO	GBL_ZOMBIE_PROC
<b>アプリケーション メトリック クラス</b>	
APP_ACTIVE_APP	APP_ACTIVE_APP_PRM
APP_CPU_NNICE_TIME	APP_CPU_NNICE_UTIL
APP_CPU_USER_MODE_TIME	APP_CPU_USER_MODE_UTIL
APP_DISK_SUBSYSTEM_QUEUE	APP_INTERVAL
APP_IPC_SUBSYSTEM_QUEUE	APP_MAJOR_FAULT
APP_MAJOR_FAULT_RATE	APP_MEM_QUEUE
APP_MINOR_FAULT	APP_MINOR_FAULT_RATE

APP_NAME_PRM_GROUPNAME	APP_NETWORK_SUBSYSTEM_QUEUE
APP_OTHER_IO_QUEUE	APP_PRM_DISK_STATE
APP_PRM_GROUPID	APP_PRM_SUSPENDED_PROC
APP_SEM_QUEUE	APP_SLEEP_QUEUE
APP_TIME	
<b>CPU メトリック クラス</b>	
BYCPU_ACTIVE	BYCPU_CPU_CSWITCH_TIME
BYCPU_CPU_CSWITCH_UTIL	BYCPU_CPU_INTERRUPT_TIME
BYCPU_CPU_INTERRUPT_UTIL	BYCPU_CPU_NICE_TIME
BYCPU_CPU_NICE_UTIL	BYCPU_CPU_NNICE_TIME
BYCPU_CPU_NNICE_UTIL	BYCPU_CPU_NORMAL_TIME
BYCPU_CPU_NORMAL_UTIL	BYCPU_CPU_REALTIME_TIME
BYCPU_CPU_REALTIME_UTIL	BYCPU_CPU_SYSCALL_TIME
BYCPU_CPU_SYSCALL_UTIL	BYCPU_CPU_TRAP_TIME
BYCPU_CPU_TRAP_UTIL	BYCPU_CPU_VFAULT_TIME
BYCPU_CPU_VFAULT_UTIL	BYCPU_CSWITCH
BYCPU_INTERRUPT_STATE	BYCPU_LAST_PROC_ID
BYCPU_LAST_THREAD_ID	BYCPU_LAST_USER_THREAD_ID
BYCPU_RUN_QUEUE_15_MIN	BYCPU_RUN_QUEUE_1_MIN
BYCPU_RUN_QUEUE_5_MIN	
<b>ディスク メトリック クラス</b>	
BYDSK_BUS	BYDSK_CONTROLLER
BYDSK_DEVNO	BYDSK_FS_IO_RATE
BYDSK_INTERVAL	BYDSK_LOGL_BYTE_RATE
BYDSK_LOGL_IO_RATE	BYDSK_LOGL_READ_BYTE_RATE
BYDSK_LOGL_WRITE_BYTE_RATE	BYDSK_PRODUCT_ID
BYDSK_QUEUE_0_UTIL	BYDSK_QUEUE_2_UTIL

BYDSK_QUEUE_4_UTIL	BYDSK_QUEUE_8_UTIL
BYDSK_QUEUE_X_UTIL	BYDSK_RAW_IO_RATE
BYDSK_SYSTEM_READ_RATE	BYDSK_SYSTEM_WRITE_RATE
BYDSK_TIME	BYDSK_VENDOR_ID
BYDSK_VM_READ_RATE	BYDSK_VM_WRITE_RATE
<b>ファイル システム メトリック クラス</b>	
FS_DEVNO	FS_FILE_IO_RATE
FS_INTERVAL	FS_IS_LVM
FS_LOGL_IO_RATE	FS_LOGL_READ_BYTE_RATE
FS_LOGL_READ_RATE	FS_LOGL_WRITE_BYTE_RATE
FS_LOGL_WRITE_RATE	FS_PHYS_IO_RATE
FS_PHYS_READ_BYTE_RATE	FS_PHYS_READ_RATE
FS_PHYS_WRITE_BYTE_RATE	FS_PHYS_WRITE_RATE
FS_VM_IO_RATE	
<b>ネットワーク インターフェイス メトリック クラス</b>	
BYNETIF_COLLISION_1_MIN_RATE	BYNETIF_ERROR_1_MIN_RATE
BYNETIF_INTERVAL	BYNETIF_MAC_ADDR
<b>プロセス メトリック クラス</b>	
PROC_APP_NAME	PROC_CACHE_WAIT_PCT
PROC_CACHE_WAIT_TIME	PROC_CDFS_WAIT_PCT
PROC_CDFS_WAIT_TIME	PROC_CLOSE
PROC_CPU_LAST_USED	PROC_CPU_NNICE_TIME
PROC_CPU_NNICE_UTIL	PROC_CPU_SWITCHES
PROC_CPU_TRAP_COUNT	PROC_DISK_LOGL_IO
PROC_DISK_LOGL_IO_RATE	PROC_DISK_PHYS_READ
PROC_DISK_PHYS_READ_RATE	PROC_DISK_PHYS_WRITE
PROC_DISK_PHYS_WRITE_RATE	PROC_DISK_RAW_READ

PROC_DISK_RAW_READ_RATE	PROC_DISK_RAW_WRITE
PROC_DISK_RAW_WRITE_RATE	PROC_DISK_REM_LOGL_READ
PROC_DISK_REM_LOGL_READ_RATE	PROC_DISK_REM_LOGL_WRITE
PROC_DISK_REM_LOGL_WRITE_RATE	PROC_DISK_REM_PHYS_READ
PROC_DISK_REM_PHYS_READ_RATE	PROC_DISK_REM_PHYS_WRITE
PROC_DISK_REM_PHYS_WRITE_RATE	PROC_DISK_SYSTEM_READ
PROC_DISK_SYSTEM_WRITE	PROC_DISK_VM_READ
PROC_DISK_VM_WRITE	PROC_DISK_WAIT_PCT
PROC_DISK_WAIT_TIME	PROC_DISPATCH
PROC_EUID	PROC_FORK
PROC_GRAPHICS_WAIT_PCT	PROC_GRAPHICS_WAIT_TIME
PROC_GROUP_NAME	PROC_INODE_WAIT_PCT
PROC_INODE_WAIT_TIME	PROC_INTERRUPTS
PROC_INTERVAL	PROC_IPC_WAIT_PCT
PROC_IPC_WAIT_TIME	PROC_JOBCTL_WAIT_PCT
PROC_JOBCTL_WAIT_TIME	PROC_MEM_PRIVATE_RES
PROC_MEM_SHARED_RES	PROC_MEM_VFAULT_COUNT
PROC_MSG_RECEIVED	PROC_MSG_SENT
PROC_MSG_WAIT_PCT	PROC_MSG_WAIT_TIME
PROC_NICE_PRI	PROC_NONDISK_LOGL_READ
PROC_NONDISK_LOGL_WRITE	PROC_NONDISK_PHYS_READ
PROC_NONDISK_PHYS_WRITE	PROC_OPEN PROC_PIPE_WAIT_PCT
PROC_PIPE_WAIT_TIME	PROC_RPC_WAIT_PCT
PROC_RPC_WAIT_TIME	PROC_SCHEDULER
PROC_SIGNAL	PROC_SOCKET_WAIT_PCT
PROC_SOCKET_WAIT_TIME	PROC_STATE
PROC_STOP_REASON_FLAG	PROC_STREAM_WAIT_PCT

PROC_STREAM_WAIT_TIME	PROC_SWAP PROC_THREAD_ID
PROC_TIME	PROC_TOP_CPU_INDEX
PROC_TOP_DISK_INDEX	PROC_TOTAL_WAIT_TIME
PROC_TTY_DEV	PROC_UID
PROC_USER_THREAD_ID	PROC_USRPRI
<b>トランザクション メトリック クラス</b>	
TT_ABORT_WALL_TIME	TT_APPNO
TT_CACHE_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_CDFS_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_CPU_CSWITCH_TIME_PER_TRAN	TT_CPU_INTERRUPT_TIME_PER_TRAN
TT_CPU_NICE_TIME_PER_TRAN	TT_CPU_NNICE_TIME_PER_TRAN
TT_CPU_NORMAL_TIME_PER_TRAN	TT_CPU_REALTIME_TIME_PER_TRAN
TT_CPU_SYSCALL_TIME_PER_TRAN	TT_CPU_SYS_MODE_TIME_PER_TRAN
TT_CPU_USER_MODE_TIME_PER_TRAN	TT_DISK_FS_READ_PER_TRAN
TT_DISK_FS_WRITE_PER_TRAN	TT_DISK_LOGL_READ_PER_TRAN
TT_DISK_LOGL_WRITE_PER_TRAN	TT_DISK_PHYS_READ_PER_TRAN
TT_DISK_PHYS_WRITE_PER_TRAN	TT_DISK_RAW_READ_PER_TRAN
TT_DISK_RAW_WRITE_PER_TRAN	TT_DISK_SYSTEM_READ_PER_TRAN
TT_DISK_SYSTEM_WRITE_PER_TRAN	TT_DISK_VM_READ_PER_TRAN
TT_DISK_VM_WRITE_PER_TRAN	TT_DISK_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_FAILED_WALL_TIME	TT_GOLDENRESOURCE_INTERVAL
TT_GRAPHICS_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_INODE_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_INPROGRESS_COUNT	TT_INTERVAL
TT_IPC_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_JOBCTL_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_LAN_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_MEASUREMENT_COUNT
TT_MEM_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_MSG_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_NFS_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_OTHER_IO_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_OTHER_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_PIPE_WAIT_TIME_PER_TRAN

TT_PRI_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_RESOURCE_INTERVAL
TT_RPC_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_SEM_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_SLEEP_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_SOCKET_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_STREAM_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_SYS_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_TERM_IO_WAIT_TIME_PER_TRAN	TT_TOTAL_WAIT_TIME_PER_TRAN
TT_UPDATE	TT_WALL_TIME
<b>論理システム メトリック クラス</b>	
BYLS_MEM_ENTL_MAX	BYLS_MEM_ENTL_MIN
BYLS_MEM_ENTL_UTIL	BYLS_MEM_FREE
BYLS_MEM_FREE_UTIL	BYLS_MEM_HEALTH
BYLS_MEM_PHYS	BYLS_MEM_PHYS_UTIL
BYLS_MEM_USED	
<b>論理ボリューム メトリック クラス</b>	
LV_AVG_READ_SERVICE_TIME	LV_AVG_WRITE_SERVICE_TIME
LV_CACHE_HIT	LV_CACHE_MISS
LV_CACHE_QUEUE	LV_CACHE_SIZE
LV_DEVNO	LV_INTERVAL
LV_OPEN_LV	LV_TYPE
<b>ホスト バス アダプタ メトリック クラス</b>	
BYHBA_TIME	BYHBA_INTERVAL
BYHBA_ID	BYHBA_NAME
BYHBA_DEVNAME	BYHBA_DEVNO
BYHBA_CLASS	BYHBA_DRIVER
BYHBA_STATE	BYHBA_UTIL
BYHBA_THROUGHPUT_UTIL	BYHBA_IO
BYHBA_READ	BYHBA_WRITE
BYHBA_IO_RATE	BYHBA_READ_RATE

BYHBA_WRITE_RATE	BYHBA_BYTE_RATE
BYHBA_READ_BYTE_RATE	BYHBA_WRITE_BYTE_RATE
BYHBA_REQUEST_QUEUE	BYHBA_BUSY_TIME
BYHBA_AVG_WAIT_TIME	BYHBA_AVG_SERVICE_TIME
BYHBA_TYPE	

## 廃止されたメトリック

次のメトリックは HP Operations Agent 12.00 ではサポートされなくなりました。

### Linux

グローバル メトリック クラス	
GBL_APP_THRESHOLD	GBL_BYCPU_THRESHOLD
GBL_BYDSK_THRESHOLD	GBL_BYFS_THRESHOLD
GBL_BYNETIF_THRESHOLD	GBL_COLLECT_INTERVAL
GBL_COLLECT_INTERVAL_PROC	GBL_FLUSH
GBL_LOGFILE_VERSION	GBL_LOGGING_TYPES
GBL_SUBPROCSAMPLEINTERVAL	GBL_THRESHOLD_CPU
GBL_THRESHOLD_NOKILLED	GBL_THRESHOLD_NONEW
アプリケーション メトリック クラス	
APP_PRI_STD_DEV	APP_PRM_LOGGING_MODE
APP_TERM_IO_WAIT_PCT	
ディスク メトリック クラス	
BYDSK_HISTOGRAM	
ネットワーク インターフェイス メトリック クラス	
BYNETIF_IN_BYTE_RATE_CUM	BYNETIF_OUT_BYTE_RATE_CUM
プロセス メトリック クラス	
PROC_CPU_TOTAL_TIME_CUM	PROC_CPU_TOTAL_UTIL_CUM

トランザクション メトリック クラス	
TT_ABORT_WALL_TIME_PER_TRAN	TT_APP_TRAN_NAME
TTBIN_TRANS_COUNT_1	TTBIN_TRANS_COUNT_10
TTBIN_TRANS_COUNT_2	TTBIN_TRANS_COUNT_3
TTBIN_TRANS_COUNT_4	TTBIN_TRANS_COUNT_5
TTBIN_TRANS_COUNT_6	TTBIN_TRANS_COUNT_7
TTBIN_TRANS_COUNT_8	TTBIN_TRANS_COUNT_9
TTBIN_UPPER_RANGE_1	TTBIN_UPPER_RANGE_10
TTBIN_UPPER_RANGE_2	TTBIN_UPPER_RANGE_3
TTBIN_UPPER_RANGE_4	TTBIN_UPPER_RANGE_5
TTBIN_UPPER_RANGE_6	TTBIN_UPPER_RANGE_7
TTBIN_UPPER_RANGE_8	TTBIN_UPPER_RANGE_9
TT_CLIENT_ADDRESS	TT_CLIENT_ADDRESS_FORMAT
TT_CLIENT_TRAN_ID	TT_NUM_BINS
TT_USER_MEASUREMENT_AVG	TT_USER_MEASUREMENT_AVG_2
TT_USER_MEASUREMENT_AVG_3	TT_USER_MEASUREMENT_AVG_4
TT_USER_MEASUREMENT_AVG_5	TT_USER_MEASUREMENT_AVG_6
TT_USER_MEASUREMENT_MAX	TT_USER_MEASUREMENT_MAX_2
TT_USER_MEASUREMENT_MAX_3	TT_USER_MEASUREMENT_MAX_4
TT_USER_MEASUREMENT_MAX_5	TT_USER_MEASUREMENT_MAX_6
TT_USER_MEASUREMENT_MIN	TT_USER_MEASUREMENT_MIN_2
TT_USER_MEASUREMENT_MIN_3	TT_USER_MEASUREMENT_MIN_4
TT_USER_MEASUREMENT_MIN_5	TT_USER_MEASUREMENT_MIN_6
TT_USER_MEASUREMENT_NAME	TT_USER_MEASUREMENT_NAME_2
TT_USER_MEASUREMENT_NAME_3	TT_USER_MEASUREMENT_NAME_4
TT_USER_MEASUREMENT_NAME_5	TT_USER_MEASUREMENT_NAME_6
論理システム メトリック クラス	



BYLS_BOOT_TIME BYLS_CLUSTER_NAME	BYLS_CPU_CLOCK, BYLS_CPU_CYCLE_ENTL_MAX
BYLS_CPU_ENTL_EMIN, BYLS_CPU_ENTL_MAX	BYLS_CPU_ENTL_MIN, BYLS_CPU_ENTL_UTIL
BYLS_CPU_MT_ENABLED, BYLS_CPU_PHYSC	BYLS_CPU_PHYS_READY_UTIL
BYLS_CPU_PHYS_SYS_MODE_UTIL	BYLS_CPU_PHYS_TOTAL_TIME
BYLS_CPU_PHYS_TOTAL_UTIL	BYLS_CPU_PHYS_USER_MODE_UTIL
BYLS_CPU_PHYS_WAIT_UTIL	BYLS_CPU_SHARES_PRIO
BYLS_CPU_SYS_MODE_UTIL	BYLS_CPU_TOTAL_UTIL
BYLS_CPU_UNRESERVED	BYLS_CPU_USER_MODE_UTIL
BYLS_DATACENTER_NAME	BYLS_DISK_PHYS_BYTE
BYLS_DISK_PHYS_BYTE_RATE	BYLS_DISK_PHYS_READ
BYLS_DISK_PHYS_READ_BYTE_RATE	BYLS_DISK_PHYS_READ_RATE
BYLS_DISK_PHYS_WRITE	BYLS_DISK_PHYS_WRITE_BYTE_RATE
BYLS_DISK_PHYS_WRITE_RATE	BYLS_DISK_UTIL
BYLS_DISK_UTIL_PEAK	BYLS_DISPLAY_NAME
BYLS_IP_ADDRESS	BYLS_LS_HOST_HOSTNAME
BYLS_LS_HOSTNAME	BYLS_LS_ID
BYLS_LS_MODE	BYLS_LS_NAME
BYLS_LS_OSTYPE	BYLS_LS_PARENT_TYPE
BYLS_LS_PARENT_UUID	BYLS_LS_PATH
BYLS_LS_ROLE	BYLS_LS_SHARED
BYLS_LS_STATE	BYLS_LS_TYPE
BYLS_LS_UUID	BYLS_MACHINE_MODEL
BYLS_MEM_ACTIVE	BYLS_MEM_AVAIL
BYLS_MEM_BALLOON_USED	BYLS_MEM_BALLOON_UTIL
BYLS_MEM_ENTL	BYLS_MEM_ENTL_MAX
BYLS_MEM_ENTL_MIN	BYLS_MEM_ENTL_UTIL
BYLS_MEM_FREE	BYLS_MEM_FREE_UTIL

BYLS_MEM_HEALTH	BYLS_MEM_OVERHEAD
BYLS_MEM_PHYS	BYLS_MEM_PHYS_UTIL
BYLS_MEM_SHARES_PRIO	BYLS_MEM_SWAPIN
BYLS_MEM_SWAPOUT	BYLS_MEM_SWAPPED
BYLS_MEM_SWAPTARGET	BYLS_MEM_SWAP_UTIL
BYLS_MEM_SYS	BYLS_MEM_UNRESERVED
BYLS_MEM_USED	BYLS_NET_BYTE_RATE
BYLS_NET_IN_BYTE	BYLS_NET_IN_PACKET
BYLS_NET_IN_PACKET_RATE	BYLS_NET_OUT_BYTE
BYLS_NET_OUT_PACKET	BYLS_NET_OUT_PACKET_RATE
BYLS_NET_PACKET_RATE	BYLS_NUM_ACTIVE_LS
BYLS_NUM_CPU	BYLS_NUM_CPU_CORE
BYLS_NUM_DISK BYLS_NUM_LS	BYLS_NUM_NETIF
BYLS_NUM_SOCKET	BYLS_UPTIME_HOURS
BYLS_UPTIME_SECONDS	BYLS_VC_IP_ADDRESS

## Windows

グローバル メトリック クラス	
GBL_APP_THRESHOLD	GBL_BYCPU_THRESHOLD
GBL_BYDSK_THRESHOLD	GBL_BYFS_THRESHOLD
GBL_BYNETIF_THRESHOLD	GBL_COLLECT_INTERVAL
GBL_COLLECT_INTERVAL_PROC	GBL_CPU_HISTOGRAM
GBL_DISK_HISTOGRAM	GBL_FLUSH
GBL_LOGFILE_VERSION	GBL_LOGGING_TYPES
GBL_MEM_PAGEIN	GBL_MEM_PAGEOUT
GBL_THRESHOLD_CPU	GBL_THRESHOLD_NOKILLED
GBL_THRESHOLD_NONEW	

ディスク メトリック クラス	
BYDSK_HISTOGRAM	
プロセス メトリック クラス	
PROC_CPU_TOTAL_TIME_CUM	PROC_CPU_TOTAL_UTIL_CUM
PROC_IO_BYTE_CUM	PROC_IO_BYTE_RATE_CUM
トランザクション メトリック クラス	
TT_ABORT_WALL_TIME_PER_TRAN	TT_APP_TRAN_NAME
TTBIN_TRANS_COUNT_1	TTBIN_TRANS_COUNT_10
TTBIN_TRANS_COUNT_2	TTBIN_TRANS_COUNT_3
TTBIN_TRANS_COUNT_4	TTBIN_TRANS_COUNT_5
TTBIN_TRANS_COUNT_6	TTBIN_TRANS_COUNT_7
TTBIN_TRANS_COUNT_8	TTBIN_TRANS_COUNT_9
TTBIN_UPPER_RANGE_1	TTBIN_UPPER_RANGE_10
TTBIN_UPPER_RANGE_2	TTBIN_UPPER_RANGE_3
TTBIN_UPPER_RANGE_4	TTBIN_UPPER_RANGE_5
TTBIN_UPPER_RANGE_6	TTBIN_UPPER_RANGE_7
TTBIN_UPPER_RANGE_8	TTBIN_UPPER_RANGE_9
TT_NUM_BINS	TT_TERM_TRAN_1_HR_RATE
TT_USER_MEASUREMENT_AVG	TT_USER_MEASUREMENT_AVG_2
TT_USER_MEASUREMENT_AVG_3	TT_USER_MEASUREMENT_AVG_4
TT_USER_MEASUREMENT_AVG_5	TT_USER_MEASUREMENT_AVG_6
TT_USER_MEASUREMENT_COUNT	TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_2
TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_3	TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_4
TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_5	TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_6
TT_USER_MEASUREMENT_MAX	TT_USER_MEASUREMENT_MAX_2
TT_USER_MEASUREMENT_MAX_3	TT_USER_MEASUREMENT_MAX_4
TT_USER_MEASUREMENT_MAX_5	TT_USER_MEASUREMENT_MAX_6

TT_USER_MEASUREMENT_MIN	TT_USER_MEASUREMENT_MIN_2
TT_USER_MEASUREMENT_MIN_3	TT_USER_MEASUREMENT_MIN_4
TT_USER_MEASUREMENT_MIN_5	TT_USER_MEASUREMENT_MIN_6
TT_USER_MEASUREMENT_NAME	TT_USER_MEASUREMENT_NAME_2
TT_USER_MEASUREMENT_NAME_3	TT_USER_MEASUREMENT_NAME_4
TT_USER_MEASUREMENT_NAME_5	TT_USER_MEASUREMENT_NAME_6
<b>論理システム メトリック クラス</b>	
BYLS_CPU_ENTL_MAX	BYLS_CPU_ENTL_MIN
BYLS_CPU_ENTL_UTIL	BYLS_CPU_PHYSC
BYLS_CPU_PHYS_SYS_MODE_UTIL	BYLS_CPU_PHYS_TOTAL_TIME
BYLS_CPU_PHYS_TOTAL_UTIL	BYLS_CPU_PHYS_USER_MODE_UTIL
BYLS_CPU_SHARES_PRIO	BYLS_DISPLAY_NAME
BYLS_HYPCALL	BYLS_HYP_UTIL
BYLS_LS_HOSTNAME	BYLS_LS_ID
BYLS_LS_MODE	BYLS_LS_NAME
BYLS_LS_OSTYPE	BYLS_LS_PATH
BYLS_LS_PROC_ID	BYLS_LS_SHARED
BYLS_LS_STATE	BYLS_LS_UUID
BYLS_MEM_ENTL	BYLS_NUM_CPU
BYLS_NUM_DISK	BYLS_NUM_NETIF
BYLS_UPTIME_SECONDS	

## AIX

<b>グローバル メトリック クラス</b>	
GBL_APP_THRESHOLD	GBL_BYCPU_THRESHOLD
GBL_BYDSK_THRESHOLD	GBL_BYFS_THRESHOLD
GBL_BYNETIF_THRESHOLD	GBL_COLLECT_INTERVAL

GBL_COLLECT_INTERVAL_PROC	GBL_CPU_HISTOGRAM
GBL_DISK_HISTOGRAM	GBL_FLUSH
GBL_LOGFILE_VERSION	GBL_LOGGING_TYPES
GBL_OTHER_QUEUE	GBL_SUBPROCSAMPLEINTERVAL
GBL_THRESHOLD_CPU	GBL_THRESHOLD_DISK
GBL_THRESHOLD_NOKILLED	GBL_THRESHOLD_NONEW
<b>アプリケーション メトリック クラス</b>	
APP_PRI_STD_DEV	
<b>ディスク メトリック クラス</b>	
BYDSK_HISTOGRAM	
<b>プロセス メトリック クラス</b>	
PROC_CPU_TOTAL_TIME_CUM	PROC_CPU_TOTAL_UTIL_CUM
PROC_DISK_BLOCK_IO_CUM	PROC_DISK_BLOCK_IO_RATE_CUM
PROC_IO_BYTE_CUM	PROC_IO_BYTE_RATE_CUM
<b>トランザクション メトリック クラス</b>	
TT_ABORT_WALL_TIME_PER_TRAN	TT_APP_TRAN_NAME
TT_TERM_TRAN_1_HR_RATE	

## Solaris

<b>グローバル メトリック クラス</b>	
GBL_APP_THRESHOLD	GBL_BYCPU_THRESHOLD
GBL_BYDSK_THRESHOLD	GBL_BYFS_THRESHOLD
GBL_BYNETIF_THRESHOLD	GBL_COLLECT_INTERVAL
GBL_COLLECT_INTERVAL_PROC	GBL_CPU_HISTOGRAM
GBL_DISK_HISTOGRAM	GBL_FLUSH
GBL_LOGFILE_VERSION	GBL_LOGGING_TYPES
GBL_LV_THRESHOLD	GBL_OTHER_QUEUE

GBL_SLEEP_QUEUE	GBL_SUBPROCSAMPLEINTERVAL
GBL_THRESHOLD_CPU	GBL_THRESHOLD_DISK
GBL_THRESHOLD_NOKILLED	GBL_THRESHOLD_NONEW
GBL_ZONE_APP	
<b>ディスク メトリック クラス</b>	
BYDSK_HISTOGRAM	
<b>ファイル システム メトリック クラス</b>	
FS_DEVNAME_ALIAS	FS_DIRNAME_ALIAS
<b>プロセス メトリック クラス</b>	
PROC_CPU_TOTAL_TIME_CUM	PROC_CPU_TOTAL_UTIL_CUM
PROC_DISK_BLOCK_IO_CUM	PROC_DISK_BLOCK_IO_RATE_CUM
PROC_IO_BYTE_CUM	PROC_IO_BYTE_RATE_CUM
<b>トランザクション メトリック クラス</b>	
TT_APP_TRAN_NAME	
<b>論理ボリューム メトリック クラス</b>	
LV_DEVNAME_ALIAS	LV_DIRNAME_ALIAS

## HP-UX

<b>グローバル メトリック クラス</b>	
GBL_APP_THRESHOLD	GBL_BYCPU_THRESHOLD
GBL_BYDSK_THRESHOLD	GBL_BYFS_THRESHOLD
GBL_BYNETIF_THRESHOLD	GBL_COLLECT_INTERVAL
GBL_COLLECT_INTERVAL_PROC	GBL_CPU_HISTOGRAM
GBL_DISK_HISTOGRAM	GBL_FLUSH
GBL_LOGFILE_VERSION	GBL_LOGGING_TYPES
GBL_THRESHOLD_NOKILLED	GBL_THRESHOLD_NONEW
GBL_LV_THRESHOLD	GBL_MEM_SWAP_1_HR_RATE

GBL_QUEUE_HISTOGRAM	GBL_THRESHOLD_CPU
GBL_THRESHOLD_DISK	GBL_THRESHOLD_NOKILLED
GBL_THRESHOLD_NONEW	GBL_THRESHOLD_SHORTLIVED
GBL_THRESHOLD_WAIT_CPU	GBL_THRESHOLD_WAIT_DISK
GBL_THRESHOLD_WAIT_IMPEDE	GBL_THRESHOLD_WAIT_MEMORY
<b>アプリケーション メトリック クラス</b>	
APP_PRI_STD_DEV	APP_PRM_LOGGING_MODE
APP_TERM_IO_WAIT_PCT	
<b>ディスク メトリック クラス</b>	
BYDSK_HISTOGRAM	
<b>ネットワーク インターフェイス メトリック クラス</b>	
BYNETIF_IN_BYTE_RATE_CUM	BYNETIF_OUT_BYTE_RATE_CUM
<b>プロセス メトリック クラス</b>	
PROC_STOP_HISTOGRAM	PROC_CPU_TOTAL_TIME_CUM
PROC_CPU_TOTAL_UTIL_CUM	PROC_DISK_FS_IO
PROC_DISK_FS_IO_RATE	PROC_DISK_LOGL_IO_CUM
PROC_DISK_LOGL_IO_RATE_CUM	PROC_DISK_PHYS_IO
PROC_DISK_PHYS_IO_CUM	PROC_DISK_PHYS_IO_RATE_CUM
PROC_IO_BYTE_CUM	PROC_IO_BYTE_RATE_CUM
<b>トランザクション メトリック クラス</b>	
TT_ABORT_WALL_TIME_PER_TRAN	TT_APP_TRAN_NAME TTBIN_TRANS_COUNT_1
TTBIN_TRANS_COUNT_10	TTBIN_TRANS_COUNT_2
TTBIN_TRANS_COUNT_3	TTBIN_TRANS_COUNT_4
TTBIN_TRANS_COUNT_5	TTBIN_TRANS_COUNT_6
TTBIN_TRANS_COUNT_7	TTBIN_TRANS_COUNT_8
TTBIN_TRANS_COUNT_9	TTBIN_UPPER_RANGE_1
TTBIN_UPPER_RANGE_10	TTBIN_UPPER_RANGE_2

TTBIN_UPPER_RANGE_3	TTBIN_UPPER_RANGE_4
TTBIN_UPPER_RANGE_5	TTBIN_UPPER_RANGE_6
TTBIN_UPPER_RANGE_7	TTBIN_UPPER_RANGE_8
TTBIN_UPPER_RANGE_9	TT_NUM_BINS
TT_TERM_TRAN_1_HR_RATE	TT_USER_MEASUREMENT_AVG
TT_USER_MEASUREMENT_AVG_2	TT_USER_MEASUREMENT_AVG_3
TT_USER_MEASUREMENT_AVG_4	TT_USER_MEASUREMENT_AVG_5
TT_USER_MEASUREMENT_AVG_6	TT_USER_MEASUREMENT_COUNT
TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_2	TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_3
TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_4	TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_5
TT_USER_MEASUREMENT_COUNT_6	TT_USER_MEASUREMENT_MAX
TT_USER_MEASUREMENT_MAX_2	TT_USER_MEASUREMENT_MAX_3
TT_USER_MEASUREMENT_MAX_4	TT_USER_MEASUREMENT_MAX_5
TT_USER_MEASUREMENT_MAX_6	TT_USER_MEASUREMENT_MIN
TT_USER_MEASUREMENT_MIN_2	TT_USER_MEASUREMENT_MIN_3
TT_USER_MEASUREMENT_MIN_4	TT_USER_MEASUREMENT_MIN_5
TT_USER_MEASUREMENT_MIN_6	TT_USER_MEASUREMENT_NAME
TT_USER_MEASUREMENT_NAME_2	TT_USER_MEASUREMENT_NAME_3
TT_USER_MEASUREMENT_NAME_4	TT_USER_MEASUREMENT_NAME_5
TT_USER_MEASUREMENT_NAME_6	
<b>論理ボリューム メトリック クラス</b>	
LV_LOGL_READ	LV_LOGL_WRITE
LV_SPACE_UTIL	



# ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

## **Feedback on リリース ノート (Operations Agent 12.00)**

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信] をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com 宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

